京城日報

三十一日夕刊　(朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

總督訓示

一 慈惠醫院長會議に於ける

三十一日道慈惠醫院長會議に於て長谷川總督の爲せる訓示左の如し

茲に各位の會同に當り訓示する所あらむとす

醫院に於ける患者の取扱は漸次良好に趣きつゝあるは洵に喜ぶべし各位は益々部下を督勵して救療に盡瘁し以て醫院本來の目的を達成せむことを期すべし

北鮮地方に於ける朝鮮人の救療事務は本年度より之を擴張し邊陬に居住する人民をして最新の醫術に依り治く治病保濟の惠澤に浴せしめむとす任に其の職に在る者宜しく此の旨趣を體して努むる所あるべし

院舍の不備及び職員の不足に付ては常に改善充實に力めつゝありと雖も尚未だ所期の半に達せず是れ最も遺憾とする所なり斯の如きは國家財政の按排と事業の緩急とを測り漸次之が完成を期するの外なきが故に各位は宜しく一層之が利用の途を講じ以て其の不足を補塡するの覺悟あるを要す

醫院の職員は相互に融和親睦すると共に官紀を嚴守し一心同體以て事業を進行せざるべからず此の如くなるときは醫院の聲望自ら揚り民衆の信賴期せずして集まらむ各位は宜しく職員の親睦を敦うし且官紀を振作し一層救療の實績を擧ぐるに努め以て其の任務を完うせむことを期すべし

◎協約の意義釋然 兩國の爲同慶に不堪

聯合國の了解=諸新聞の歡迎評

外務當局の談

外務當局の談に曰く日支兩國政府は別に發表せる如き軍事協約を締結せるが日本政府としては既に日英攻守同盟、日米共同宣言等の取極めを行ひたる事ありて敢て事新らしく感ぜざるも支那としては斯かる協約は開國以來之れを以て嚆矢とす由來我が國と支那との間は常に極めて親善の關係に在れば平時に於ても斯かる取極めあるべき筈なりしも未だ其の運びに至らざりしが參戰の結果理論主義の問題に非ず實利實害の上より如何にして敵國勢力の東漸を阻止し極東の平和安寧を維持すべきやの問題兩國政府の前に展開せられ支那の北方派南方派と云ふが如き區々たる感情に拘泥せず日支兩國間に無かる可からざる必要上兩國政府の了解を得遂に今回の協約成立を見たる次第なるが愈々帝國陸海軍より委員を北京に派し支那陸海軍當局と會商せしむるに至るや種々の誤解を惹起し南方派諸新聞等は屢々大總統及び國務總理に反對の電報を送り排日論調激烈を極め遂に留學生の歸國を見多少南北の政爭に利用せられたるが如き觀あるは遺憾にして若し此の協約締結前南北統一實現せられ居りしならんには斯かる誤解を生ぜざりしなるべし然れども愈々協約の眞相知れ渡るや留學生の歸國騷ぎも鎭靜に傾き南方諸新聞も聲を潛め南方派の領袖たる岑春煊、孫洪伊及び來朝中の唐紹儀、張繼兩氏の如き孰れも不安の念を一掃し兩國間に缺くべからざる協約なりと認むるに至れるは兩國の爲め同慶の至りなりと云ふべし最近上海佛租界に事務所を設け撒文を配付して排日運動を試みたるものありしも撒文は僅かに鐵筆版の貧弱なるものにて演說會の如きも開催されず結局排日の傾向の如き拍子拔けの氣味あり先般漢口福州等に一時的に起れる排日的示威運動の如きも終熄し全く不穩の兆無きに至りしは幸福なりと言はざる可からず而して帝國政府よりは聯合國に對し既に內報して了解を得たる次第なるが今聯合國諸新聞の論調を見るに倫敦タイムスは頗る歡迎的論說を揭げ佛國のデバ、ルタン等の新聞も歡迎の辭を述ぶると共に更に出兵の前提たらん事を望み米國は比較的に冷靜にして日支間の取極めは米國の關する所に非ずとして敢て反對せざる態度を執り居れるが敵國側に在りては獨逸のコロンガゼットの如きは本協約に依り將來獨逸は支那に於ては何事も爲し得ざるに至るべしと悲觀的論調に傾けり(東京特電)

▲日支親善具體化

貴族院議員 鎌田榮吉氏談

日支軍事協約は今日のところ適當の措置なり日支兩國は脣齒輔車の關係にあり兄弟牆に鬩ぐは外侮を招き易し今日の時局に際し此の協約を爲せしは一の場合の軍事行動に便なるのみならず從來口にのみ唱へられし日支親善を實質の上に具體化せるものと言はざるべからず而して日支親善は經濟上のみに限るべからず軍事上の結託と相俟つて始めて其の實を實現するを得べし吾人は今回の協約は日英同盟の趣旨より見るも時宜に適せるを信ず之れ啻に當面の措置として適當なるのみならず將來東亞の保全に貢獻するを得ればなり(東京特電)

▲宛然英佛の共同

憲政會顧問 江木翼氏談

協約其物に就きては當然の事を規定せるのみ政府は該協約締結の結果直に出兵するが如き事無かる可きも元來日支兩國が共同の敵に對抗し居れる以上敵國の勢力が東洋全局の安寧を脅迫するに至らば當然共同防敵の行爲に出でざる可からざる事英佛が共同して獨逸に當れるが如くある可きなり(東京特電)

▲轉ばぬ先きの杖

政友會總務 橋德五郎氏談

政府が日支共同防衞の方策を確立し得たるは確に機宜に適せる措置なり唯だ本協約の締結と所謂出兵問題とは自ら別個の問題たらざる可らず從て本協約は將來獨逸が東洋の天地を侵犯する事ある場合を豫想せる轉ばぬ先の杖とも見る可く畢竟將來に對する用心に過ぎず若し夫れ後の軍隊撤退に關する聲明に至りては我態度は寧ろ强者の態度として滿足す可し(東京特電)

▲是れ焦眉の急務

第一銀行頭取 池田謙三氏談

今次の協約は最も機宜を得たるものなり支那の陸海軍が現狀の如く不完全なるに於ては萬一の場合我國の犠牲を拂ふ處多きは固より其の處にして稍々其の義務の我國に偏重する傾無きに非ざるも我國は獨力を以ても東洋の平和を確保せざる可からざる地位にあれば已むを得ざる次第にて今回の協約にて支那の協力を期待するを得るに至りしは幸甚と云ふ可し而して是等の事に關し何等我より要請する處無きは勿論なれば支那人士の間にも疑惧猜疑の結果妄動するが如き者無からんを望む、日支相倚るは目下の急務なれば也(東京特電)

◎協約批准書交換

林公使は船津書記官を隨へ三十日午後三時半外交部に赴き陸總長と曩に兩國軍事委員との間に協定せる共同防敵軍事協約批准書を交換せり(北京特電)

◎支那師團編成著手

支那政府は日本と協同防禦を協約せる以上は相當の必要ありとし更に二個師團の編成に著手せり(北京特電)

◎獨ランス進軍十五哩

獨逸軍は廿九日迄にランス、ソアソン間にて最も深き處にて十五哩進出せり(倫敦電報)

◎ヒンデンブルグ將軍の罹病

ヒンデンブルグ將軍は數週間來病氣の爲めマッケンゼン將軍はルーデンドルフ將軍と協力し目下最高に於ける獨逸軍總司令部に在り(倫敦電報)

に對する補缺選擧は長富雄吉、藤島範平、島村淺夫、中島滋太郎の四氏當選したり(東京特電)

◎軍司令部條令

三十一日軍令第四號を以て朝鮮駐箚軍司令部條令を朝鮮軍司令部條令に改定し六月一日より施行さるべし(東京特電)

◎日郵株主總會

配當五割、任期滿了の改選

日本郵船會社第三十三期株主總會は三十日午後二時開會年五割の配當案を可決し前取締役伊丹二郎、堀達、根岸錬二郎、谷井保の四氏を再選せり

◎隈部警務總長

北方巡閲中の隈部警務總長は三十日午後五時四十五分來咸停車場に三宅師團長代理其他官民有志の出迎あり清林館に投宿三十一日警務署憲兵分遣所其他を巡閲し夜は部下職員の晩餐會に臨み一泊午後零時十分發南行の豫定なり(咸興特電)

◎昨年度米實收高

一千二百二十二萬七千餘石

大正六年の米實收高は水稻一千二百十一萬二千六百三十石陸稻十一萬四千三百七十九石合計一千二百二十二萬七千九石にして前年實收高に比し三十萬四千石即ち二歩四厘の減少なり之れ同年は五月より七月までの間降雨乏しかりし爲挿秧の適期を失し又は其の後に在りても用水不足し旱害を蒙りたる地方少なからざるを主たる原因なりとす前年に比し收穫高の減少最も甚だしきは京畿黃海の二道にして右旱害の爲黃海道に於て三割二歩京畿道に於て五歩の減收を示せるも西鮮地方は被害少くして殊に全羅北道及び慶尚南道の如きは川水適當なりし爲前年に比し五歩乃至九歩の增收を得たるに依り全鮮を通じたる減收は上揭の如く甚しからざるを得たり今米作付反別及び收穫高累年對照並に地方別米作付反別及收穫高累年對照を示せば左の如し

▲米作付反別及收穫高

年次	作付反別	收穫高
大正元年	[illegible]	[illegible]
二年	[illegible]	[illegible]
三年	[illegible]	[illegible]
四年	[illegible]	[illegible]
五年	[illegible]	[illegible]
六年	[illegible]	[illegible]

▲各道米作反別及收穫高

道名	作付反別	收穫高
京畿道	[illegible]	[illegible]
忠清北道	[illegible]	[illegible]
忠清南道	[illegible]	[illegible]
全羅北道	[illegible]	[illegible]
全羅南道	[illegible]	[illegible]
慶尚北道	[illegible]	[illegible]
慶尚南道	[illegible]	[illegible]
黃海道	[illegible]	[illegible]
平安南道	[illegible]	[illegible]
平安北道	[illegible]	[illegible]
江原道	[illegible]	[illegible]
咸鏡南道	[illegible]	[illegible]
咸鏡北道	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

◎露國帝政再建計畫

獨聯邦中の一なるメクレンブルヒ、シュウエーリンの太公を皇帝として露國に帝政を再建せんと計畫しつゝあり(倫敦電報)

◎英國露國援助協議

英國外務次官セシル卿は二十八日下院に於て述べて曰く政府は從來露國を援助せんとする希望に關し屢々證言を與へたるが政府は目下此の援助を與ふるに最も有効なる方法に就き聯合諸國と協議しつゝあり(倫敦電報)

◎獨本攻擊牽制運動

佛國首相クレマンソー氏は國會議員に向ひ獨軍の戰鬪は單に來る可き本攻擊の牽制運動に過ぎずと語れり(巴里電報)

◎端數切捨國稅 改正公布

國庫出納金端數計算法に依り端數を切り捨つべき國稅指定の件改正の件は六月一日官報にて公布され即日より施行のことゝなれり

◎慈惠醫院長會議(第三日)

慈惠醫院長會議第三日は三十一日午前九時より總督府第二會議室に於て開會別項記載の總督訓示及び提出意見指示事項等打合等あり正午散會せるが本日を以て本會議は終了せり

◎定例長官會議

三十一日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議開會總督、各部長官、局長等出席一般政務に就き審議する處ありたり

◎東京大連線架設

朝鮮內は遞信局にて

遞信省並に關東都督府管轄大正七八兩年度の繼續事業たる東京大連間の直通電信線中朝鮮內に於ける架設は今回遞信省並に都督府より朝鮮總督府遞信局に委託する事となりし由にて遞信局にて目下材料の購入に著手し材料揃へば直ちに工事に著手し可及的速に其の架設を終る方針なるが最近佐々木遞信局計理課長が遞信省並に關東都督府事務官を兼ねたるは委託經費支出上の關係より來れるものにて工事は主として工務課の花野技師等之れに當る由なり

◎越後丸傭船

朝郵の豫備船

朝鮮郵船會社にては今回日本海航路浦鹽航路就航船の豫備船として北海道增毛に於ける本間氏の所有船越後丸(一千五百五十噸)を傭船する事に協調成立し六月上旬其の引渡しを神戶若くば門司にて行ふ由なるが傭船料の支出は年額約五十萬圓に上る由

◎中央市場條規案(七)

京城商業會議所研究案

第二十條 本市場附屬問屋は十人を超ゆるを得ず

本條は市場經營上の必要と問屋保護の兩方面の必要より規定したるものなり公設市場が卸市場を設置するの統一を圖るには先づ其の統一機關たる問屋を撰擇せざるべからず若し問屋にして故意に市價を變動せしめ奇利を博せんとするが如きことあらんか私設市場としては或は許すべけんも公設市場としては斷乎として之を排斥せざるべからず仍つて先づ數に於て

△彼等を制限して善良の問屋のみに同意を與ふるの要あるが如し次に問屋の位置を安固にし忠實に營業に從事せしむるには濫りに競爭者を增加せしめざるの要あり吾人は仍て五人以下にて足れりと論じたる事あるも法規として單に五人の少數に過ぐるよりも十人以內適宜に增減するの餘地を存し置くを可として本條文を立案したるものなり

第二十一條 卸市場の販賣は貨物の種類に從ひ各々指定の場所に於て事務員監督の下に之を行ふ競賣の順序は荷著前後に從ふ

問屋が販賣すべき水產物、蔬菜及果物を主體とすべきは既に市場規則に

△規定する所なるも市場規則には問屋なる文字を用ひ居らず其の意味殆んど問屋と等しきが故に便宜上問屋なる文字を用ひ來れり然れども嚴密に謂ふ時は京城に於ける問屋なる一般觀念と市場規則第八條の規定する所とは稍相違する點あり水產物果物及び蔬菜を委託販賣する問屋糶問屋(競賣)と所謂八百屋物の卸賣を爲す問屋(卸問屋)ありて後者は制合に規定するが如く競賣法に依らざるを常とす公設市場が食料品市場として中樞機關たるべき使命を有せしは右の競賣に依らざる問屋なるものも之を認めざるべからざるより故に卸市場に收容すべき

△貨物の種類は水產物蔬菜果物及其他の八百屋物に區別し得べし而かも水產物中には生魚ある乾鹽魚あり又は海草より製したるものありて取扱上其の場所を異にせざるを得ず吾人は尠くとも生魚乾鹽魚果物及び蔬菜並に競賣に依らざるものに對する四個の卸市場を用意すべき必要あるを感ず卸市場を區分すべき理由は右の如し而して市場の取締上最も監督を嚴にすべきは又た卸市場なり市場の事務所は必ず卸市の賣買に立會ひ不正又は不當の行爲あらしむるべからず此の目的を達する爲めに問屋には其の取引に事務所吏員の立會なくば其の行爲を爲す能はざらしめ事務所には

△取引の現場を必ず監督すべき義務を負はしむる條文を設けたる所以なり本條第二項は競賣秩序を維持する爲めに設けたり

◎京畿家蠶絲狀況

京畿道

管內に於ける大正六年中家蠶絲生產狀況を聞くに製絲戶數合計四千三十四戶產絲額合計四千七百十三貫右の內工場組織に依りて製絲を行ふもの三箇所、家內工業として之を行ふもの四千三百十一戶あり又產絲額に在りては改良絲一千九百二十九貫、在來絲二千七百八十四貫を算せりと

◎證券募入如何

五月二十二日に締切りたる五分利付國庫證券は五千萬圓の募集額に對し一億三千萬圓の應募申込みあり約八千萬圓の超過となりしに付目下中央當局にて募入方法を研究中の如く鮮銀には未だ公式に通知なき由なるも多分額面一千圓以下は全部募入とし一千圓以上に於て按分にて減額を行ふものゝ如しと

◎東拓所員昇格

東洋拓殖會社京城支店にては鮮內各出張所に於ける事務の繁多に伴ひ今回水原京城元山三出張所を除く外次席に參事を置く事とし又所長は技師を更めて參事となす事に決定夫々詮議中

◎荻田局長歸任

荻田總務局長は平北管內出張中の處三十日夜南大門驛著歸任せり

◎誤植　昨日夕刊一面電報『新しき勇氣と希望と』の脇に『英國新聞』の突は佛の誤植に付訂正す

人事消息

▲正田文爾氏(總督府技師)二十九日附咸鏡南道に出張を命ぜらる
▲若城信太郎氏(同土木局釜山出張所長)三十日梁山及蔚山兩郡に出張を命ぜらる
▲野口耕一氏(同土木局元山出張所長)三十日附城津端川甲山鏡城茂山穩城各郡へ出張を命ぜらる
▲安藤又三郎氏(京管運輸課長)三十日午後大連へ
▲渡邊寬氏(新任會寧憲兵分隊長)三十日出發赴任
▲芳川正義氏(釜山監獄典獄)三十一日夜入京不知火へ投宿の筈
▲石川穆吉氏(平壤監獄典獄)同上

◆苦しい旅樂しい旅

大正水利組合行

一記者

▽二十七日の午後雨が上つてから並に二十八日の竣工式當日近郷近在より集まつて來た朝鮮人の數は夥しいものであつたが、何れも瞩目する風物の激變に驚ろいたであらうと思はれた

▽乃ち一寒村とも云はれぬ草生地干潟地が美田になり、その草生地干潟地に水路が出來て船を通じ又二十七八の兩日には彼等の曾て見た事のない自動車が五臺も府邸里の不二農場に集まつた、四十餘の人力車も安東縣や新義州から駆り集められて來た

▽京城その他から官民の有力者が多數招かれ更に美しい妓生も來た、新義州の妓生も[illegible]た、空には煙火が絶えず打ち揚げられるし、思ひ掛けぬ金撒きもある、洋樂と鮮樂の賑かな吹奏もある、群衆が一時に集つて來た、群衆の爲めには總べてが意外であつたらう

▽二十八日總督一行が午後の四時に見えると云ふので、前日について來賓の多數は[illegible]中水路の支線なる不二農場から耳湖浦に下つた、耳湖浦大閘門井に大器械切の實況を觀察した、耳湖浦は明治二十七年征清軍兵站部の上陸した地點で、その部落背後の山麓の大石に征清兵站部上陸地點と云ふ文字が刻してある、そして山腹の攻つた木立の新緑が[illegible]

▽大閘門は廣さ九尺のものが[illegible]連になつてゐて、中央は船通しのため特に高さが十二尺としてある、外面は自動開閉式鐵扉であつて、內側には引上式の鐵扇を裝置し[illegible]全を圖ると共に用水の保溜に備へてある、其閘門を起點とし[illegible]る干潟地と海面を分つた防波堤が約里餘、向ふの山に續いてゐた

▽總督一行は四時半に到著、[illegible]工式は既記の如き順序により擧行せられた、農場の內外と背後の山は白衣の人に埋まり、附近は[illegible]れた天氣も上り、危ぶまれた總督も來臨されたので、藤井組合長、三木農場主その他の歡喜は尋常でなかつた

▽記者は[illegible]氏と共に式を終つて二十八日午後[illegible]の同業者と共に[illegible]の途を京義線の南市驛に出た、[illegible]路は道路や不二農場で大に手を入れてゐる、[illegible]け隔る點のうてゐた、九時に發する南行の列車に間に合はぬ虞れあるため、カイロ(快走)急げ〳〵と支那人車夫を激勵して[illegible]足を速めさした

▽途中三里も來た頃、七時に農場を出た總督一行の自動車が五臺、吾等の車を追ひ拔いた、一行は臨時列車で新義州に向はれたのである、吾等が南市驛につくと[illegible]長官と荻田總務局長が停車場にゐた、[illegible]に後れまいと津村平壤館館長も驅けつけた、津村氏はどうも俥の足が遅くて汽車に間に合はぬと危ぶまれたので二人掛りの俥夫に[illegible]し時々十錢紙幣を與へ、その勢ひで驅けさしたと云つてゐた

▽要するに此行は雨に苦しめられた內にも亦面白い旅であつた、藤井澤村の諸氏を初め理事者が乏しい田舍で盛大の式を擧ぐる準備を整のへた事と、雨天や來賓の接待に非常の配慮をしたのは特[illegible]に値する、又大正水利組合は水[illegible]に經驗深き藤井氏の施設だけ、[illegible]べての方面に手が行き渡り、[illegible]易い紛紜の殆んど起つてゐない[illegible]云ふ事を茲に附記しておかう(了)

時間表 [illegible]　十一月一日現行

戰後の變調が恐しい

苦し紛れに列國が如何なるものを發明するか如何なるものを發見するか

頭に物を載せるのは埃及から

九州大學教授 三宅、宮入兩博士談

東大の岡田博士を迎へた京城は三十日の夜更に刀圭界の頭腦を二人迄迎へた。即ち九大の三宅速博士と宮入慶之助博士と――今更說する迄もないが三宅博士は外科の權威、其一句は九州大學の如く刀圭界に並きなし此人が親しくメスを揮つて手術すれば患者は以つて非常な光榮として居る位。又宮入博士は内科の泰斗。内科にかけては全く内科の宮入か宮入の内科かと謳はれ殊に寄生蟲の研究に於て名高い、兩博士は交々語つて曰く

▽歐洲の戰亂 は凡百方面に多大なる影響を與へたが御多分に漏れず我醫界の如きも醫藥の輸入困難、藥品、醫療機械の供給杜絶など尠なからぬ打擊を蒙つて居る、然し之等は一時的でもあり又藥品、醫療機械の樣なものは幾らでも代用品が出來るから然う心配する程の事はないが恐ろしいのは戰後の變調である、詰り列國共

▽苦し紛れに 什麼事を遣り出すか判らぬ――之が恐しいのだ、此奴は詰らぬ事だ出來相にもないと思ふ事でも實驗に實驗を重ね研究に研究を積んで居る中には意外なる効果を奏することがあるもので、此先列國が如何なるものを發明し如何なるものを發見するか前途頗る怖るべきものがある朝鮮に來て何時も感ずる事は内地人の家屋が

▽餘に暖國的 で寒い寒い朝鮮の冬に適當して居らぬ事である、最少し防寒的設備を充分にして懸らねば内地人の發展をヨリ以上に進める事は覺束ない、少くとも之が多少の障害となる事は疑ひない所であらう、溫突は朝鮮の冬を越すに最も適當なものとなつて居るが然し之も從來の樣な構造では燃料も澤山要れば逆暖も不完全第一餘り燃料を澤山要する結果

▽山林を荒廢 に歸せしむる虞れがある、ペーチカは何んでも燃料になる點に於て便利であるが夫でも尙現在の構造では充分とは言へない、最少し有効に萬遍なくホツト、エヤー(熱氣)を利用する樣にしなくては駄目である、然らば如何なる形式を選ぶかと問はれると之は實際問題であるから經濟上衞生上の事も考へねばならず、又採暖上の設備に就いても研究せねばならぬので自分が

▽實際遣つて 見た上でないとお答へは出來ない、朝鮮と云へば鮮人の服裝は却々好い殊に婦人の服裝に於て然りである、白い上衣藍色の裳……打ち見た所如何にも淸楚で朝鮮の自然に非常に好く調和して居る樣だ、朝鮮の女は頭に物を載せる風習があるが之は埃及から中央亞細亞あたりで古來から見る所である、恐らく此風習は

▽中央亞細亞 から次第に東漸して遂に朝鮮に傳はつて來たものであらう

向三宅博士のお話しに依ると内地でも京都の大原女は總て頭に物を載せて運搬する風習があるが強いのになると二十貫位の物は平氣で載せる相な、首の力も亦強いものである、又宮入博士は朝鮮の寄生蟲は内地の夫に比べて却々猖獗がある醫學會でも年一年と隆盛に向ひ各會員熱心に研究すると云ふ風が見ゆるのは甚だ賀に堪へぬと語りて居た

飛行機製作

熱田兵器所にて

熱田兵器製造所にて飛行機の製作開始の由也(大阪特電)

神戸大火

大爆音と共に、猛火附近を包む

神戸榮町六丁目製茶檢査所裏手に當り三十日夜九時大爆音あり震動と共に火炎天に冲し忽ち附近を猛火に包みて榮町元町に延燒し目貫の商店十數軒を燒失し十一時鎭火せるが外人二、三燒死の疑ひあり目下取調中也(神戸電報)

小倉大火後報

燒戶三百戶 損害廿萬圓

小倉の大火は遊廓の茶屋二十三戶其他合せて三百戶の燒失にて損害額二十萬圓の見込也(小倉電報)

醫學總會演題

三博士列席

朝鮮醫學會は既記の如く六月一日二日の兩日京城醫學專門學校に於て第八回總會を開く筈なるが兩日共會員の外來賓として東大敎授岡田和一郎博士、九大敎授三宅速博士、同宮入慶之助博士を首め刀圭界の諸名士列席各其蘊蓄を披瀝すべし總會次第及び演題左の如し

▲第一日(午前八時開會)開會の辭、來賓祝辭、會務報告、議事、休憩後會員撮影、特別講演、會員講演(正午休憩午後一時再開)特別講演、會員講演、宿題講演、會員講演 ▲第二日(午前八時半開會)會員講演、特別講演(正午休憩、午後一時再開)特別講演、會員講演、閉會の辭

▽第一日演題

特別講演『日本に於ける脚氣症に就て』(來賓醫學博士三宅速君(福岡))『內分泌臟器の血液凝固に對する相互關係に就て』來賓醫學博士岡田和一郎君(滿洲) 宿題『トラホーム』に就て早川龍三君(京城) 朝鮮人の人種解剖學的研究(第三報告)醫學博士久保武君(京城)肺二口蟲實驗報告 醫學博士森安連吉君 等廿八題

▽第二日演題

視神經の液體交通に就て(來賓)盛新之助君(滿洲) 喇叭に就て(來賓)博士宮入慶之助君(福岡) 演題未定(來賓)野川三秀君(滿洲) 宿題 微毒に就て 渡邊晉君(京城) 等三十五題

唄の師匠さんがモヒ中毒

年々の救濟に當局の趣旨が徹底して來た京畿道警務部では西大門一丁目元女子普通學校跡で例年の通りモルヒネ中毒患者を收容して居る今の處患者の數は女一人男六人中に

◆◇妓生の 唄の師匠で月俸六十圓も取つて居りながらモルヒネ注射のために月々二三十圓も喰ひ込み藥品でほつと息衝すると弟子の妓生達も悦ぶやうな

◆◇美しい 咽喉を持つてゐる淸進洞の池在貞と言ふ男や梅毒の苦痛を忘れるためにモルヒネを注射したのが病みつきとなつた太明治町一丁目の金貸業李玄善なぞ、言ふ男があつて、何れも

◆◇血の氣 のない顏に倦怠と疲勞と苦痛の色を泛べながら獸の如くとして室の其處此處に蹲まつてゐる、今年は乞食は收容しないので客種は良殊に輕症のが多いから

◆◇子供の やうに喧いたり七顛八倒したりするものはないので係員も樂だと言つてゐる、年々の救濟に當局の趣旨が徹底して來た結果收容方を志願する者もある

海難頻々

正木丸坐礁後報

鎭南浦中村組扱朝郵汽船宗信丸が廿八日西島燈臺附近に於て沈沒の厄に遭ひたる矢先き又復既報同店の扱に係る正木丸遭難の報あり海運界の不祥事といふべきが其後報をなさんに

▽遭難船 第二正木丸は神戶日下部株式會社所有最近建造に係る千二百廿四噸の鐵船にして本船腹の全部を三菱にチヤーターし廿六日午後二時長崎發三菱製鐵所用の鐵材及び機械類のみを積載して兼二浦に航行中廿九日午前二時黃海道松禾郡沖合なる椒島と夢金浦の中間に於て坐礁したるものにて既報の如く同日午後七時四十分松禾局發の

▽救助を 要求する電報を受けたる中村組にては直ちに救助船を仕立てんとしたるも坐礁の地點は外海なれば同組の小蒸汽船にては其の用を爲すべくもあらず已むなく海事局の鴨川丸及び稅關の鎭洋丸二隻の出動を求め午後十一時發人夫三十餘名と救助材料を搭載して別に解船二隻を曳き遭難現場に

▽急航し たる外製鐵所の雇た日丸も卅日黎明發起重機其他の材料を積み解船二隻を曳きて急航したるも同日午後四時迄には何等其後の消息を齎らす處なく同船の運命果して何れに歸すべきや甚だ杞憂に堪へず目下尙中村組船舶係の談に依れば今回の遭難地たる椒島夢金浦間には

▽長洲こ 稱する可なり大なる洲あれば或は此の洲に乘り上げたるものにはあらざるかとも思はれ電報の如く坐礁の爲め船底を破損し浸水激しとすれば或は五棚地と稱する夢金浦側の地先なる岩石成の突角に坐礁せるには非ざるかとも思はるゝなり何樣正木丸は今回が西鮮海への

▽初航海 の事にもあり殊に廿九日は濃霧も殊更烈しかりければ之れが爲め針路を誤まりたるにあらざるかとも思はる損害の程度等も目下の處にては判明せざれど何れにしても紀州丸と云ひ今回と云ひ引續きての海難は遺憾の至りなりと語りたり(平壤)

農民三百五十餘 面事務所に押寄す

‖火田民の輕擧

五月二十八日午前十一時頃江原道春川郡西下面事務所に同面安保里の農民三百五十餘名が押し寄せ

▽不穩の言動 に及ばんとせる旨急報に依り春川署より警察官出張懇諭して解散せしめたるが其の經緯を聞くに先頃發布されたる森林山野耕作制限令に依れば制限令の實施と共に火田に入火することを禁止さるゝことゝなりしより元來

▽火田に依り て生活し來れる安保里にては之れが制限令を實施さるゝに於ては生計上尠からざる打擊を受くることゝなるべしと信じ五月二十一日同里民七十三名連署を以て制限令の實施猶豫方を請願する旨認めたる書類を春川警察署德斗院駐在所に提出せり

▽駐在所にて は其の旨を春川署に報告し郡廳にも報告して適當なる處置をなすべく進捗中なるに一方農民側は夫れ等の事情を知らず請願の趣意を認容し呉れざるものと疑ひて集合騷擾し此の輕擧に及びたるものなりと

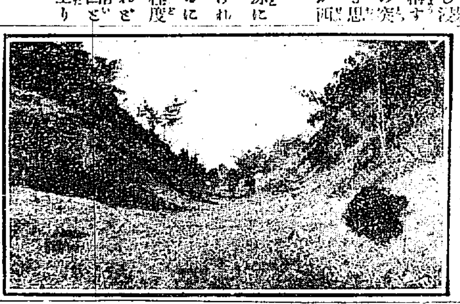
雨中の水路下り(二)

◇…ごんごんごんごん!
◇…鳴る瀬はごこよ、エーツレー…

雨は小降りになつた、ほほづき提燈を屋形の軒につけ

七千尺の隧道に

◇吳郡守の隧道ロマンス◇



◇吳郡守掘割の遺跡(廿餘年前)

回軍山 のトンネルをすぐ船が通る――かう曰つて船中の警戒連は身を動かしつゝ愉さうに珍らしさうに目を瞬つてゐた。百餘の同船の役人も新聞記者も此の永いトンネルな船で通る前に、入分の好奇心と二分の恐怖心を有つてゐた。船は流れを緩やかに下つて行く、船尾に立つた内地人水夫の悠な聲がヤー〜〜と聞ゆる、軈て闇は十二間くに迫つて來、既に六七艘の船はての暗い穴に進み込んだらしい、雨がいくつか小降りになつたので、藤井氏は紗道に命じて燈籠提灯に灯を入れさした――『ソラ入つた――』何人か大きな聲を出した時

船足は遲

に速さを加へたそれは六千分の一の落差からトンネルの中の三千分の一の勾配に下つたからであつた、と同時に周圍が薄暗くなつて提灯の赤い灯が凉しく見わて來る、各自の話し聲が高くなる、舷側を打つ水の音が耳に立つ、一體此の通水トンネルは

◇延長六千六百尺

乃ち十數町回軍山を貫通して、大正水利組合の工事

消魂しい

音が起つた、要するより咽喉には分らぬが、吾等の前の船は止まつてゐるらしい、此儘進んでは衝突の外はないので、船夫と二三の人は側への綱をとり辛うじて船をとめた、とめると同時にあとの船にもすぐ船留を傳へた、ゾウと水の流るゝ音が高い、一度はそれですんだが二度目に持をつた支那人が叱する聲に藤井氏も内地人船夫の聲が恐ろしく高い、トンネルの左右に通じてゐる大綱にカンテラが所々に點して、ある、そのカンテラの中も洗手を明るい、提灯とでなれて來ると藥課長の指圖で又しても三四の人は藤高に水利前なやり出した時、前方に當つて

船はズン

〳〵進んで行くと、此の高い長い山を掘り割りによつて水を通じようと計畫した吳長湍の話は慥に人々の頭に強い何者かを與へた

掘つた跡

と現在水路になつてゐるトンネルとの間の上下の距離は約九十尺乃至十五間もあるのだから、到底掘り割りによつて此の高い山に水を通ずる事は思ひも寄らぬ事である……と、此の高い長い

なほその當時の工事上の智識と技術とでは成功しよう筈はなく、吳長湍の計畫は快事として、空しく同地方民の話り草となり終つた、今に回軍山上に行くとその掘割にかゝつた跡は歷然として殘り、廿餘年前の壯圖を偲ばしめるに十分である、

◇惜しい哉、此の半島の資金と數萬の人夫を用ゐ山上の掘り込みを初めたのであつた

一大平野

の十灘地草生地に著目し同じく古津江から水を引きとつて水利の途を拓かうとしたのであつた、大體の目論見は藤井氏等の計畫と同じである、然し乍ら吳氏は大正水利がトンネルを通じた回軍山を掘割りにより水を通じ得るものと信じたらしく、數萬の灌漑地とせる

か、つた噂があると云ふ話しをしたが、それは當時の京畿道長湍郡守、吳某と云ふ人で、恰度大正水利組合の灌漑地とせる

費を最も多く要した個所である、トンネルに入る前後藤井氏は二十餘年前哀い鮮人が此の山の掘割に

サア墜落

……第の恐怖は一層烈しい雨に濡れ見の如く一人の妓は半ば墜ちかけた、殆ど一人の妓は、今しも右の船縁へ一人はしきりと騷ぎ、タバッテあるらしい男連の顏色も稍青くなつて、しかし此の船を墜落する事なく、長や、大野金藏氏や、かく申す記者も墜れかけた屋形の梁を兩手で支へつゝ下る、そこに又第二第三の打つかりが來たのであつた(つゞく一記者)

目であつたか三度目であつたか、船夫があはてた爲めらしい簡單なあんぺらと幕のおほはれた屋形は底險の岩石になつてゐる一端に打つかつて、ガタツと云ふ内に大半破壞され下つた提灯は概ね消えて終つた

雜

大雅請伯金剛山行

此程來京滯在中なりし南畫家生田大溪氏は金剛山寫生の爲め二十八日出發元山を經て二十九日溫井里ホテルに到着せし筈にて約二週間滯在す可しと

讀者文藝

(一等には五十錢の郵便券を呈す)

▲謎「大掃除とかけて」(一等) 夕立と解く心は後が淸々する 義州一ノ一 久住松月

▲放蕩者と解く心は家財が手當り次第に持ち出す 京城 大兵衛

▲朝鮮料理と解く心は隣にいて出きなる 信川 龍水

▲きぬた打ちと解く心はたゝみ叩いて日に晒す 京城 山公

▲忍び男と解く心は頰被りでトントン敲く 京城 りう子

▲最近米國から歸つた川崎總督府技師の談によると同國の陸軍省では兵士募集の目的で『愛國的美人なきか』さいふやうなヂツケを用ひて歌舞の出來る婦人を募集して居るさうだ▲これは平素から歌舞音樂の歡樂に醉ひつゝある兵士の多くが急に女の肉ある聲くとも川來ぬ、又踊りも觀るこの事も出來なくなつたために今の兵士のホームシツクに罹る者が多いのでこれを慰藉する一手段として軍隊内に娛樂場を設け前記の婦人を隊附の女優として歌ひ入れ踊み踊らせ兵士の無聊を慰めさせるのださうだ▲其娛樂部には軍事所係の者の外は出入するを許さず兵士は政府が買ひ出す觀覽券を持つて觀に行くのだから其の觀覽券は常時の演劇家が奪ふて買ひ兵士に贈したりしてゐるのださうだ

灯ともし頃

給仕入用

內地人給仕入用希望者は履歷書携帶申込あれ(制服を給與す)

京城日報社編輯局

お伽噺の會を開きます

坊ちやん孃ちやんの爲に

第三回 京日お伽講演會

開會日時 六月二日(日曜)午後一時

開會場所 南大門小學校講堂にて

おためになつて面白い!皆樣是非お出でなさい

京城日報社

商況

東京期米特電

三十一日前場 [illegible]

兵庫期米

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

[illegible]

期米更に昂騰

期米は今前場一段の昂騰を告げ大阪寄付二十五圓八十一錢より九錢六圓と四錢を報じ本月中旬より約二十五錢に上れり且つ月末仕込の大阪淀仁川又二十一圓五十錢に一寸上れり…[illegible]

大豆益高氣配

大豆は內地の好氣配に依り一方買人氣を唱へつゝあるが…[illegible]

十五圓以上を唱へ檢査合格品

[illegible]

正米氣强持合

正米は昨日來相場持合ひの儘にて…[illegible]

買進み益々高

[illegible]

砂糖不賣氣安

砂糖は既報の如く在荷過剩の一面…[illegible]

仁川正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

釜山穀物(廿八日)

[illegible]

更に高人氣

[illegible]

生魚市場

▲京城日之丸市場 [illegible]

仁川期米

三十一日前場(强硬)

市場雜觀

[illegible]

大阪の昂騰を受け月末掉尾の活躍を演じ

四十五錢を以て發會したる七月限は二十二圓四十五錢と一値段に納會したるは同日の二十三圓二

新甫内氣配

六七月限の大逆鞘

時期に入り出穀薄の先づ二十錢上鞘見

[illegible]

下關相場

[illegible]

麥粉は持合ひ

中一部持惱み筋の多少割安

先づ軟弱持合

大阪天候晴天

十錢を高値に前寄二十五圓八十一錢四十八錢

十一錢と昨止より五錢安

先廿三錢と寄付き四錢安

少の傾向在米も追々

正米割安

丈不利の位置に

仁川米豆取引所

三十一日の七月限

階船株

[illegible]

北鮮たより

小口落問題

白米標準値

二十六圓三十錢

小賣白米

現金賣 一等白米 二十七錢 二等白米 二十六錢

米穀賣買之業務御用命ノ節ハ 仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長七六番

□募集規程 ▲用紙は端書又は雜紙大のもの毎回必ず同形の用紙を用ふべし▲一枚毎に雅號又は姓名を明記の事…

■聯絡船上陸客 二十九日 …

■氣象 風雪警報(三十一日午前十時發)…晴れ一時曇

……二等四十名）……中村しめ、同安正、伊地しづ子、井本勇一郎、李……逸郎、小椅さし子、李潤駿、市川賢治、山村仁一、山本茂信、吉川芳三郎、山崎貞吉、柳井庄二郎、英小川、吉本世三郎、國中群一、森勝治、多良尾機、同みさゑ、角野軍吉、松井忠次郎、太田代顕

▲二十九日午後釜山入港對馬丸 二等客 一等（三名）小西和、胡部公外人一名

三等（百十九名）

▲卅日午前釜山入港新羅丸 二等客 一等（九名）杉浦辰作、佐野潤象、鈴木熊太郎、三宅蓮、池上勘祐、宮原保、宮入政之助、淺川……風安吉、平山ふじの、中島世二……部一、石山福市、兵新次、淺井すみ子、寺岡……五郎、玄東徹、赵川市太郎 三等（二百八十三名）……鈴木つれ、坂田康作、同もと子、小柳よし 三等（百十八名）

◎小倉聯隊熱病患者

小倉聯隊內に熱病患者三十八名發生せり（大阪特電）

◎天勝、雲養先生を訪ふ

目下黄金館に出演中の松旭齋天勝は三十日午後三時某氏の紹介で朝鮮當代の過個選手府金允植氏邸を訪問した、朝鮮屈指の學者と魔術界の女王、對照が頗る面白く、殊に天勝が東郷子を連れて行つたので大喜び、雲養先生は三人令息なども出られて四方八方の話が交はされ終りに天勝が二三の奇術を手際よく演ると一座何れも驚異の眼を瞠はる始末、天勝も朝鮮の上流家庭を始めて觀たことが非常に喜んで記念撮影をなして辭去したのが三時半であつた

◎何にても効く カルシウムの話

大阪醫科大學 片瀬醫學士談

カルシューム劑は我國にても、外國にても隨分古くから種々の病氣に用ゐられたものだが、四五十年前藥物學者が、カルシューム劑は腸管より吸收されないといふ說を主張したので、其用途も一時中絶狀態に在つた然に數前カルシュームには消炎作用即ち諸種の黴菌に依つて起る所の炎症を抑壓する作用があることをギヤリ及びヤヌシエケ兩氏が發見してから、大に學界及び治療界の注意を惹き、近時に於ては常に治病の目的に用ゐる許りでなく、保健或は體力の增進の目的で、汎く一般世人に賞用せられるやうになつた由つて今左にカルシユームと生物體との關係並に其効果を述べん

骨や齒がカルシウム

カルシュームは廣く且豐富に土壤中に存在し動植物の個體を構成する一要素として之を含むでゐない物は一つもない、人間の身體中骨質と齒牙の如きは其大部分此カルシュームから成立つてゐる、のみならず身體を構成する細胞はカルシュームが全く缺乏すれば、寸時も生活することが出來ぬ、カルシュームが缺乏した場合に如何なる障害を起すかと言ふに鷄にカルシュームを與へないで飼養すると產む卵の殼が非常に柔かになり其後全然卵を產まなくなる、幼兒や學童にカルシュームが缺乏すると身體が羸瘦し、顏色が蒼白く氣分が勝れぬやうになる

炭や土を喰ふ子供

さうして小兒の中には炭や灰、壁土、白墨等を好むで食する奇癖を有する者がある、是れは身體にカルシュームが缺乏せる爲めで斯んな小兒にカルシューム劑を服用せしむると奇習が止み又大人で稀に壁土や煙草の灰等を食する者があるが是れもカルシウムが足りない爲である

自然に含れてゐる

元來カルシウムは食物中に含まれてあるから三度の食事さへすれば自然にカルシームを攝取することになるが併し茲に注意せねばならぬことは食物中には同時に多量の寧ろカルシュームよりも大量にマグネシュームを含有してゐることで、此マグネシュームはカルシュームの作用を抑壓し或は全然滅却する

人造のカルシューム

故に身體中マグネシュームの量がカルシュームの量を超過した場合にはカルシュームの種々の障害が起る、即ち氣分が勝れず、便秘したり又は下痢を起したりする故に吾人が日常愉快に且健康にありたいと希へば是非ともカルシュームを多量に攝取すべき必要上人造のカルシューム劑を服用するの必要がある

姙婦は大に服可し

だから姙娠中カルシュームを服用してゐると產後毛髮の拔けることがなく產れた子供も健康である、其他カルシュームを服むと腦が明晰になり、神經衰弱等に罹ることが無い

殺菌の効力もある

更にカルシュームは種々の黴菌に對する身體の抵抗力を增大せしむる作用がある、一例を示せばカルシュームを取扱ふセメント工場や石灰工場では不潔な場所であるに拘はらず、結核患者が一人もないのみならず輕症の結核は工場で治癒することさへある（大阪）

◎熟考を要す

◆天寶山輕鐵布設問題◆

本春支那政府の許可を得たる間島天寶山豆滿江間輕便鐵道は解決後直に工事に着手せらるべく豫期せられ居たるが今日に至るも未だ起工せらるべき狀況もなく之を天寶山鑛山當事者に聞くも或は不日着手せらるべしと云ひ或は本年中は六ケ敷かるべしと云ひ要領を得ず茲に於て過般間島地方視察に來れる某會社技術者の意見に依れば吉會鐵道敷設の議は大に進捗し居れるを以て今輕鐵の敷設は營利事業として果して有利の事業なるや疑問とする所にして且つは輕鐵敷設の爲めに鐵道工事上妨害せらるゝ事は少なからざるを以て間島の輕鐵敷設は大に考究を要する問題なるべしと（會寧）

農況（平南）麥

平安南道本年の麥作は昨年に比し甚だ不況にして前年の實收高合計小麥十萬六千六百六十三石に比し本年の收穫豫想高九萬三千〇五十三石にして一萬三千六百十石の減收となり大麥は前年度の實收高十一萬三千百九十二石に對し本年の收穫豫想高九萬四千五百二十四石にして一萬八千六百十八石の減收となり天候の然らしむる處人爲は如何ともし難きも物價騰貴の折柄小麥の減收は農民に大打擊也

◎籐で拵へた家具

◆洋風を加味せし流行 ◇日本風の中敷にも調和す◇

近來一般に洋館又は洋風の建築が著しく增加して來て普通の住宅にも隨分洋風の物を用ふる樣な傾向になつて來た、在來の日本建築は誠に閑雅で趣味に富んでゐるが實用を主眼とした洋風の設備は又流石に便利といふ點に於ては申分がない、世の中が繁劇になるに連れて勢ひ便利といふ事の必要が起つて來るので自然洋風の應用が殖まつて來るのだらう、殊に

夏は坐わるよりも

腰をかけて風通しのいゝ涼しい所にゐる方が好いから自然椅子卓子が歡ばれる、日本家屋の一部に洋風を加味するのも一つは氣分を新らたにし一つは如何にも輕快で爽涼な趣きがあるからであらう、應接室などには殊に洋風加味が適當で若し十疊位の座敷とすると卓子一脚、小椅子四脚、腕掛椅子二脚、長椅子一脚それに花臺と花卓子位を配置すると瀟洒な洋風の部屋が出來上品な御座敷の工合によつては隅棚を置き惑飾などを設へると更に一層整つて來る、殊に籐製の洋風家具は日本座敷に極めて調和がよく輕快で取扱にも便利だから至極適當である、別莊や溫泉等には勿論普通の住宅にも相應しいものである又室內のみならず庭前の綠蔭にも涼風わたる廊下にも消暑の伴侶として

至る所に持運びが

出來て便利な事は此上もない

籐椅子といへば夏季にのみ限られる樣に思はれて居るが座蒲團で凭りかゝりの部分にクレトンの製地を張ると冬も暖に夏涼しく四季を通じて役に立つものである（完）

◎降雨と流筏

本年度に於ける營林廠及び採木公司其他個人の流筏は四月上旬より開始され爾來安東、新義州兩地への着筏を見つゝあるが久しき間の旱魃に鴨綠江減水し流筏に困難なりしも本年中旬頃より連日の降雨に昨今增水しつゝあり爲めに著後日々に增加し漸く順潮を告ぐると共に製紙會社材料原木も亦々入津ある活況を呈し居れり（新義州）

豫告 次回新小說「妻の心」

小林蹴月氏作 武內桂舟畫伯畫

目下朝刊四面に連載中の小說『花吹雪』は六月六日の五十三回を以て愈好評裡に完結するに付六月七日より連載すべき次回小說は本社が特に讀者の希望を聽き東都の新進作者數名より原稿を取寄せたる中にて是れなれば必ず讀者の滿足を得るものと確信せる小林蹴月氏作新小說『妻の心』を掲載する事とせり倘ほ妻の心は近來文壇に稀に見る傑作にて作者が心血を注ぎ執筆せるものなれば稿を重ぬるに從つて氏が艷麗の筆致は愈加はり波瀾曲折抱腹絶倒するかと思へば淚の袖を絞るが如き哀感は一々讀者の肺腑に響く處あるべし

◎今年中懸ても 掃貨の見込無し

◆惡運送業者の奸手段◆ ◆稻荷の豆から芽が出す始末◆

長春を筆頭に滿鐵沿線各地に於ける特產物の停滯甚しく特產物商の困難せる事は屢報の如くなるが昨今に於ても減少する氣色なく倘長春の如き寧ろ增加の傾向に在り最近當長春に於ける滯貨量を見るに東支鐵道より滿鐵線に引繼ぐべき聯絡貨物一萬二千噸長春驛構內五萬五千噸專用引込線內に於て十萬一千噸市內各問屋其の他に在る物約五萬噸合計二十一萬八千噸と云ふ有樣にて今日迄大略二十萬噸と見當し居たるに二萬噸近き增加を生じ居る有樣なり是等の莫大なる大豆は何れも野積なるが故に

下積の大豆は發芽

せんとする狀態にあり殊に近く雨期を控へ市價は下落一方と云ふ有樣にて金融上にも甚だしき大影響あり旁々以て特產物商の窮狀同情に値すべし、されば此の窮境に突入りて貨車繰の急を希望する者は一貨車に付き五十圓或は百圓と云ふ運動費と稱して荷主を欺き金を捲上げ私腹を肥せる惡運送業者あり荷主は其の多額の無意味に出金も何とかして一貨車なりとも亡云ふ是非なき事情に迫られ淚を呑んで云ふが儘に應じ居る狀態にあり一方東支鐵道筋は浦港に出すは運賃率に於て百斤二十錢の高率となり殊に浦港に出したりとて輸入禁止の今日なれば積取船は盈不足の折柄なれば何時廻船を見みを廻航せざるべからず、只に船腹や計り難く倘汽車に積込て證券を發行せらるゝ證券金額面は浦港側しは大連行に比しフードに對し一留の下値より記入せざる始末なるより此の際出來得る限りの手段を盡して滿鐵にして引受るなれば尠くも三十萬噸の著荷を見んとの形勢にあり此の如き狀態なるに加へて大連港に於ける船積も亦多大の停滯を來し居る事なれば現今の長春は大豆の山を抱いて徒らに惡運送業者の腹を肥せる始末にて此の厖大なる滯貨は本年中全力を擧げて大豆の運送に盡すも倘且掃貨を見る事を得ざるべし（長春）

◎僞の委任狀で 旅館と貸座敷を

◆煙に捲いて無錢飲食◆

山口縣大島郡油田村平民住所不定大工大山發雄（二七）は五月十六日頃兼二浦水道事務所建築工場へ忍び入り建築用圖面二枚及び大工、部築の谷造所有の鋸口、金指環、部築の印顆等を盜みて平壤に出で來り無一文ながらも大盡氣取りで大和町筑前屋旅館に投宿し部築の印章を押捺して平壤中村組より工事請負金受領方の委任狀を僞造し前記圖面と共に旅館主人に示したる處主人は詐りなりとは夢にも知らず鄭重なる取扱をなし居る內十八日夜賑町長崎樓に登樓し十一圓餘を費消せしが例の無一文とて又々襲きの圖面と僞委任狀を示し現金を支拂はざるより家人も怪しと思ひ居りし處十九日朝同樓を逃走し廿三日夜再び同廓若松樓に揚り込み前記の方法にて三十餘圓の遊興をなし廿四日迄逗し居る折しも平壤署の寺田刑事に探知され御用ッ

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版 亞鉛版 京城日報社寫眞製版部

◎夏の丸帶色々

◆どんな物が流行るか◆

本年新流行の帶地中例年流行の柄に少々珍案が加へた樣なものは數多く見受けるが別に見ると大體次の樣なものである

××綃刺繡 クリームがかりたる白地の總地に金銀の薄い砂子で雲形を出し菱、蝶、藤の彩り床しい刺繡模樣にし菱は綠の濃淡、雨蔽、白茶など藤は白茶と葡萄、蝶は藍鼠、茶、青磁、白茶などにして巧妙なる刺繡の縞模樣、二十八九歲から三十五六歲迄至極高尚優雅に見ゆる

××綃繡珍 水色地に雲取を薄墨にし、銀糸と薄墨にて蝶々を布置よく飛ばせたもの二十八九歲から三十七八歲位迄見榮の甚だ上品である

××綃織縫 黑地に浪の模樣を面白く地紋に現はし、群ら千鳥の刺繡模樣を白茶の濃淡で巧みに出し、間々金銀を配つたもの三十歲から三十七八歲位まで粹で上品で頗る目新しく訪問服などには持つて來いの逸品である。

サツポロビール後援

第一回 活動寫眞 有樂館 ブリユーバード大會

サツポロビール愛飲家優待券（自五月卅一日至六月六日）（一枚二人通用）

サツポロビール愛飲家に限り本紙切拔の上御持參の御方は入場料半減可致候

大日本麥酒株式會社京城出張所

入荷御案內

△米國ウオルサム會社製時計 拾八金17形梨地無賣 七石入厚側實用時計 特價金四拾九圓五拾錢

△銀製卷煙草入 梨地兩面入（特價）金拾八圓五十錢 片切彫刻金象眼入 特價金武拾武圓五十錢 片切彫刻 特價金拾七圓五十錢 切嵌入象眼入 特價金武拾四圓五十錢

京城本町二丁目 村木時計店 電話四七壹番 振替三一九〇番

質 （大口獸邊）黄金町長崎町入口 電話二九一六番 田村質店 商品擔保便利取扱

かや 本濱蚊帳 夏座ふとん 腰簾 新荷著 京城本町 丸一綿雜貨部 電話一〇一九一番・振替三六五番

男の生殖器病 專賣特許 眞空療法器を自宅で簡單秘密に使用せば生殖器發育不完全、包莖、早漏、陰萎、遺精、腦神經衰弱、慢性淋病等は容易に治す二大醫學博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃湧くが如しハガキで申込あれ非賣品圖入說明書を無代封送す ▲來所者には醫師詳細說明す 東京神田かぢ町五 電話神田七二二番 東京眞空療法研究所

除蟲菊創植者 賞牌 綠白綬章拜領 責任付 かとりせんこう 金鳥香 のみとり粉 （萬一効力なき時は幾回でも取替致します） 營業所 大阪西區土佐堀三（電話土佐堀六二六） 原產地本舖 上山英工場 輸出高ニ於テ各國語ニテ特ニ商談ニ應ズ

六月一日より三日間 夏衣新柄 よせぎれ 見切反物 大賣出し 京城 三越呉服店

日本及歐米十三ヶ國專賣特許 胃腸最新藥 ヂゲスチン 食慾が減退した時に食慾を增進す 元氣が衰へた折に活力を與ふ 貧血のものには血液を補給す 體力の增進と體重の增加を促す 現今醫界大家は胃腸の諸疾患に本品を最も賞用せらる 說明書進呈 東京本町 藥種問屋 岡城商店

川魚一式 本日より仕出仕候 京城旭町一丁目 電話二〇四六 會席御料理 權平庵 中井ゆく

贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四番 內科 小兒科 入院隨意 無料施療す 每日五名を限る 醫學博士古城憲治

母ハツ子葬儀ノ節ハ遠路御會葬被成下御厚情難有御禮申上候

大正七年五月三十一日

熊谷百合子

親戚總代 久保田留三

友人總代 渡邊暢 吾孫子勝

▲表後一週間以內に割弱又は同業發見通告者には五十錢書籍券を呈す ▲但何番何號と明記に限る ▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

汽車發着
京釜線(南行) [illegible]
同(北行) [illegible]
京義線(北行) [illegible]
同(南行) [illegible]
京仁線(仁川行) [illegible]
同(京城行) [illegible]
京元線(北行) [illegible]
同(南行) [illegible]

塚原卜傳

第九十二席　悟道軒圓玉口演

然るに將軍義輝公相變らず日々酒宴に耽り給ひ、政務を疎そかにして奸臣を近付け給ふ樣子に心ある者は苦々しく千々に心を碎くといへども其効更にございませんから歎息して居ります、處が不圖愛妾白妙御所を脱出して行方知れずになつた其折書遺したる書面、之れは義輝公の御手に入りましたが一目見て直ぐに火中し給ひ『今は仔細あつて身を隱したもの今は生きて居るまいから訪ねることは無用にいたせ』と仰せられ、格別に姿を穿鑿の御沙汰もない、而不審に思ひましたがその證據ともなるべき手紙は火中に投せられて了つた、め何の事やら分らず惡人一同奇異に感じて居ります、義輝公其後は益々として酒盃も手にせられず、偶々酒宴を催ほされても興半ばにして止め給ふ樣子、山名鑑物之れを聞いてさては御心づき給ひしかと心嬉しく思ひまして或日御前へ出ると義輝公 義『今日は久々にて予が茶を點てゝ遣はさう』と仰せられ御自身茶席へ御案内あり入る、近臣侍女を遠ざけられ義輝公お手づから茶を點じて鑑物に賜はるお茶は武野紹鷗の傳授を受けてお出になるからお美事、鑑物謹しんで頂戴する、フト床の掛物を拜見すると白居易の詩で『白雲花繁空撲地、絲絲枝弱不勝鶯』と二行に認めてある、相國寺長老の筆、鑑物見て居る中に顏を顰め思はず歎息をした、義輝公ジッと見て居りましたが 義『鑑物白居易の志ざしも不潤である枝弱鶯に勝たずとは白樂天自から逆臣の專横を憤りしもの、予の今の身に引較べて思へば察するに餘りあり……』鑑物思はず將軍の顏を見て 鑑『さては我君には御心づき給ひしか……』 義『鑑物永々の心勞過分に存ずるぞ、シテ越後路への使はどうであつたな、輝虎は何と返答したぞ』 鑑『恐入つたる御明察何者が御耳に入しか、上杉家へ申遣りし義兵の一件、使者は戻りましたれど輝虎未だ近國を鎮定するに急がしく遲くも今月中旬迄には上京との返事はござりましたが今に至るまで沙汰もなく心勞致して居りまする』 義『左樣か輝虎は約束を忘れる者でない、必らず上洛は致すであらうが定めし武田北條を初め近國の奴輩と合戰隙なく存しながらの遲延であらう、何はともあれ重ねて催促をいたし呉れよ』 鑑『ハッ、シテ我君は疾より其事を御存じにて……』 義『心ならずも酒色に耽り、本心を亂したる體に見せしは皆逆臣の刄を逃れる一時の方便、固より天文廿二年に予が三好の一族人質として寵愛いたせる妾子の者を燒殺したるは一應の深く怨む處なれば假令我睦しかりとも何かで忘れ果つべき何時か其恨みの及は我身に報い來らんと疾より知る義輝、去ながら弟二人は僧となつて南都に在り血を分し子と申しては一人もなく、今義輝死なば足利の正統絶なんと思ひ心ならずも表面亂行の體にて逆臣の目を晦まし居つたるが此頃白妙の遺書に最早予の一命は風前の灯の如しと悟り、此上は汝等の力に依つて逆しまに逆臣を討つか、また一時都を去て後來を計るか二つに一つの相談をしたいと思ひ汝を茶席に招いた次第である』 鑑『ハッ』 何も鑑物腹藏なき入たる御深謀とも知らず今日まで君を恨み奉りし我々は眼あれども盲に等しく何とも面目次第がござりません、此上の手段として一時も早く上杉家へ催促して兵馬を乞ひ一戰して三黨を亡ぼすより外に手段はなく其手段は恐れながら之々』と將軍家の御耳に口を寄せて囁く鑑物、此場の樣子は誰一人として知る者もなしと思ひの外、委細を聞いて此處を立去つた一人の男がある。

六月二日九星
舊四月廿四日庚辰　木命　二黒　坤閉　先負

▲二黒● 不準備の事有日注意新事見合東方は吉晴天 坤▲三碧● 一寸閉口する事有日新事手控務事は吉萬同時にせらるべし▲四緑● 平調の日なれども新事控目の方吉務事樹を怖るは吉▲五黄● 不用來相談の事有日新事手控務事は吉一切のせわ事を禁ず▲六白● 上運の日轉居入學開業名弘求職金件借財婚姻等萬吉▲七● 顯達の日轉居行商旅行名弘出漁求職金件婚姻同志を求る等萬吉▲八白● 損かへしのつかぬ事有日新事は手控務事土工は妨なし▲九紫● 大吉利の日轉居行商求職出漁金件採鑛婚姻等皆吉物に賜の日▲一白● ぐればまになる事有日新事手控務事は吉約束に用心せらるべし

▲新荷着▲
▲本セル 金拾七圓五十錢より
▲錦砂縮緬兵兒帶 金九圓八十五錢
▲單羽折地(男物) 新柄 金拾七圓八十錢 金廿五圓
▲絽男羽折(縞無地) 新柄 一、金拾壹圓五十錢 二、金拾四圓五十錢 三、金拾八圓五十錢
▲綿セル男女物 柄御好み次第
金壹圓九十八錢 金貳圓八十錢 金參圓八十五錢 金四圓八十五錢
◎送料朝鮮内十二錢外三十五錢
御注文の際は男女年齡の別柄向き御嗜好及び價格御申越し下され候はゞ必ず適當の柄見計ひ御郵送可申上候
京城太平町一丁目
織元特約販賣 京城日報社代理部
電話長六〇〇九 構内十八番 振替京城三〇〇番

演藝案内

當る三十一日より大寫眞提供 朝鮮活動寫眞株式會社代理店
櫻井町 大正館 電話八七三
▲英國チャリー・チャップリン會社特製
▲滑稽活劇『チャプリンと新長尺』
▲米國ヴァイタグラフ會社製品
○西洋人情劇『女運轉手』八千呎
[illegible]
○新派大悲劇『……江』全五卷
[illegible]

明治町二丁目 浪花館 電話二六〇番
▲五月二十五日より開演
▲前座 [illegible] ▲義士傳 [illegible] ▲乃木將軍 [illegible]

黄金館 電話二六三七 二六六
當る六月三日より特別大興行
天正豪傑毛谷村六助
新派大悲劇『色のみだれ』
[illegible]

有樂館 電話(本局)五九七番
▲第一回ブリウバード 全五卷
[illegible]

[illegible]

●外務社員募集
居住地にても爲し得る業務月收多大 且特別優遇法有志者は至急履歴書封入本社外務部宛申込まれよ
東京市麹町區有樂町一丁目四番地
大日本勸業株式會社

特約店及外務員大募集
國家經濟的世界無比の大發明品 [illegible]
東京淺草區並木町大通雷門前
メリット商會 電話下谷二二〇三番

りん病七日藥
痳除 痳病はいやでも治る奇藥也
●慢性痳病●急性痳病●膀胱加答兒●睾丸炎●婦人病
七日分一圓 服用せよ説明書送呈
大阪堺筋八幡筋北 山口藥院

漬物問屋
大阪市南區新戎橋筋電車通
商號 森内商店
電南三〇三七 振替大阪三四〇一三

眼鏡舗
最新流行 縁無眼鏡 眼鏡無料檢査 御自宅出張 新案
東京市京橋區中橋
金鳳堂 電京二二六

金銀時計 製作 販賣 品質優良
仁川本町 岐阜商店

斯うして腦神經衰弱を治療せよ

―只に葉書一枚―神經衰弱の跡方もない―終日閑かな氣分で暮せる―簡易なる治療法

◇どういふ譯だらう……『頭腦が惡い男だ』と冷評するのは實際生きて行けない男だと云ふに均しい生存競爭に負けないで自分が授かつた天けの天命を圓滿に終了するには是非とも健腦の法を努めねばならぬ。然るに此頃は妙に氣が滅入つて何だか大きな自然の眞中へ自分ばかり孤然として投り出された者の樣に思はれて、不安恐怖が常々として押迫つて來る、一體怎して這麼尼雜者になつたのだらう。

◇よく考へて見ると……何でも新しい事に屬する、自分が鍵な氣分に捉はれて物事が一切落着かず、いくら元氣を勵ましても直に倦怠して日ほどとする耳は忌に詰つたやうな鳴るやうな惡感を強び、落膽して寢反へつて見ると空間には無數の光線玉が爭ふて上下するのが散見くのである、晝は懶く夜は眠られず、四時不合理な妄想が矢鱈に拔れ果てた心神を害める。

◇心細い話である、氣が浮立たないから自然五官の作用も不規則である身體の衰弱は目立つて、[illegible]五月蠅とか云ふ無氣力な心になつて少しの事に焦つたり怒鳴つたり心配したりして吾乍ら愛憎の盡きる人間になつてしまつたものだ。之は神經衰弱だ……記憶力は昔日の萬分の一もなし判斷力理解力決斷力が減亡して憂鬱病に陷り、曲解憶測して世を呪はんとする精神上の無能力者となつたのである。上に述べた樣な哀れな境遇に泣く者は廣い世界に幾百萬人と數限りない。

◇兄の忠言を聽いて此病氣が薄らぐ樣に癒つたのだから這麼嬉しい事はなかつた、諸多の賣藥に散々手數を掛けても癒らないのだから駄目だらうと疑ひ乍ら『一錢五厘捨てる氣』で東京銀座弓町二十二弘濟院中南定太郎氏宛葉書を出して見た、中南氏は常持學士著『腦神經衰弱療法』の冊子を直ちに無代で寄贈して呉れたのである。平易で讀り易く一々肯かる、方法が書いてあつた、之と同時に同學士發見の腦病良藥レーベンのある事が譯つた、常持氏が數年の粒々たる辛苦は漸く健腦劑レーベンの發見を以て勁業を就げられたのである、鋭劑レーベンは腦病患者に對する一道の光明であつて成功榮達の指導者である。

◇權威者は推奬せり……岡田醫學博士有効證明を初め諸大家は熱心に常持氏のレーベンを推奬して居るレーベンが植物性の藥質を有する事は腦の營養素リンサンを多量に含有するに、米麥を常食とする日本人に最も反應を與へる樣に製出された譯である。

◇名藥レーベン……腦病藥は世に少くない、然し乍ら眞面目に其天職を果し得る物は果してどれだけあるであらうか、中には誇大な効顯を吹聽して粗藥を賣附ける奸商もあるそうである、レーベンは獨斷的に其美を自負する者ではない、試に信用ある公平な藥舖に就いて百千の腦病藥中レーベンが優越して實効に富める最善の良藥なるかを尋ねたなら『乾度効力顯著ですから』と云つて卽座にレーベンを示すのが事實である、大きい樣だが國民救濟少くとも腦病患者の救濟を以て自ら天職と信じて居る弘濟藥院は所謂賣藥屋では決してない良藥レーベンを求めらるゝと否とは別問題である、只腦病で苦しんで居る人、其兆候のある人は療法だけでも知つて置く必要はある、藥書一本を東京銀座弓町二二、弘濟院、中南定太郎宛に寄越されよ、前記常持醫學士著『腦神經衰弱療法書』を無料直送するのである、遠慮は無用今直に申込あれ。藥價は三十錢五十錢八十五錢一圓一圓六十錢三圓等で各地藥房にあり

(原文の鑑)
[illegible]
正夫どの　兄より

MITSUWA TSUBAKI (CAMELLIA) OIL.
Mitsuwa Tsubaki (Camellia) oil is admittedly the best for the hair. It enhances the natural lustre and strength of the hair, and nourishes it generally. The oil is compressed from the camellia, and through a sanitary process, is bottled absolutely pure. Perfect for toilet.
Price 20 Sen, 30 Sen and 55 Sen.

熟せる椿の實の皮膜を去り、冷壓法を以て搾取せる
○ミツワ椿油
○ミツワ椿油は製造法を改良し、新鮮な椿の實を精選して、特に内地に取寄せ、冷壓法で少しも熱を加へずに搾取したもので、厭ふべき臭氣を發する遊離酸や、含蓄物等を含んで居無い、新鮮純良な椿油である。故にミツワ椿油を平素用つてゐると毛髪に滲込む力が強いので赤毛や白毛に早く成り易い髪を除き、毛髪の發育を助け、艶を美しくし、何時も艶々しい濡羽色で、裂毛、折毛などの憂は決してないのである。
定價 小入 金二十錢 中入 金三十錢 大入 金五十五錢 一合入 金五十錢 五合入 金二圓五十錢 内地以外は關税運賃を加ふ

(現品縮寫圖)

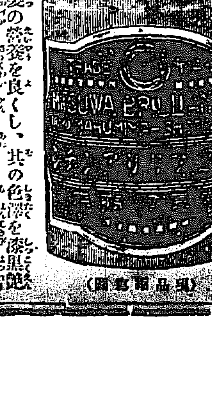
MITSUWA COSMÉTIQUE.
Mitsuwa Cosmetic is made by experts through a special process from carefully selected Mitsuwa Camellia Oil. It contains no grease nor injurious substances to the hair. Moreover an exquisite fragrance is blended in it. It possesses all the essential qualities which improves and nourishes the beauty of the hair and maintains its vitality, lustre and colour. Price 20 Sen.

最新の科學を應用して精製せる理想的鬢附油
○ミツワ固煉油
定價 金二十錢 内地以外は關税運賃を加ふ
本品は最良無比の毛髪油として定評ある新鮮純粹なるミツワ椿油を基礎とし、油脂專攻の學者が最新の科學に據り、研究案出せる特殊嶄新の方法を以て之れを硬化せしめ、温雅なる芳香料を加へたるものにして、本品を在來のコスメチック或は鬢附油に代用するも、毫も毛髪を汚さず、尚ほ裂毛を生ずる愛ひ更になく、毛髪の發育を助け營養を良くし、其の色澤を漆黑艶麗ならしめ、容色に一段の美を添ふることを得る實用的美髪料なり。

(現品縮寫圖)

MITSUWA BRILLIANTINE.
Modern science has brought us such an excellent hair oil as "Mitsuwa Brilliantine." It bases upon the famous Mitsuwa Camellia Oil, which is matchless for the hair health, combined with the best perfume by a special process. It nourishes the beauty of the hair and maintains its vitality, lustre and colour. Also it removes dandruff, stops scalp itching and prevents hair from falling.
Prices 30 Sen and 50 Sen.

本邦人の毛髪に適する模範的光澤香油
○ミツワブリリアンチン
定價 金三十錢 大壜金五十錢 内地以外は關税運賃を加ふ
本品はミツワ椿油を基礎とし、之に品質優秀なる香水を配合したるもので、男子の頭髪を分くるとき、又婦人束髪の際に本品を撒濕して用ふれば、更に毛髪の營養を良くし、其の色澤を漆黑艶美ならしめ、而も芳香馥郁として自ら爽快の感を與ふる模範的美髪料なり。



(現品縮寫圖)

贅澤で、經濟で、而して最も優良なる
○三百番香水
定價 各種一均 小壜入 金五十錢 中壜入 金壹圓 大壜入 金貳圓五十錢 内地以外は關税運賃を加ふ

種類
ヴァイオレット(すみれ)
ローズ(ばら)
リリー(ゆり)
ムゲット(花の名)
ミモーサ(花の名)
ブーケー(花ばた)

三百番香水は優雅な香で、長い時間香を保つもので、香は人によつて、嗜好を異にして居るから、六種の香を異にするものを發賣して、更に追々種類を殖やさうと云ふ計畫である。折角高價を拂つて求めても、其香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一壜毎に小壜の見本を添へてあるので、お嗜好に合ふものがお選べる便利がある。一體普通香水は容器の體裁を飾る爲に餘計は高價なものになる弊があるが、三百番香水は正味のみを目的として居るので、自然價格も無類の低廉なものになつてゐる。

(現品縮寫圖)

發賣品目録御申越次第送呈
ミツワ石鹸本舗 東京日本橋區橘町 丸見屋商店

京城日報

六月一日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）

本紙定價　一ヶ月六十五錢・郵送二ヶ月前金・三ヶ月前金…（以下[illegible]）
廣告料金　七字詰一行…
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
電話番號…　振替口座京城三〇〇番
發行兼編輯人　奥川[illegible]
印刷人　小川三之介

第五……聯合國にして今後講和の……○若し聯合國にして或る程度迄獨逸の要求に應じ講和談判を開始せば是れ恰も聯合國が中歐同盟國……カルス河畔に在りては約二十里にられ深さ約五里の地域迄撤退しイ……に亙れる正面を突破せ……深さ約十一……ーブルは其の南方約二里に在るケ……五里の地域に其の足……を取る……要地の喪失に由りて獨軍重砲……聯合軍の中堅を衝き突破の目的……故に今日の場合に於て聯合國が……を逢する如きに至らば聯合軍は墺の講和提議を容れ之れが談判を開始するが如きあらば是れ却て聯……絶對的に講和を排せざる可からず……とも中歐同盟國は……極端なる專守防禦の戰……が耳を藉さざるべく、聯合國は講和問題を說くの權威無き也。……一歩の……を排せず、而して聯合國に在りては一方には米國が物質的援助に努力するあり、他方には我が帝國が精神的……勝利を制するの機會は今日に在り、今日は決して講和の時機に非ざる也(完)

京城日報　軍費支辨力

此度の大戰役は世界歷史上空前の大規模なると同時に、其軍費の鉅額なる驚くべきものあり、千九百十四年開戰の初め佛國經濟學者ルロア、ボーリユー氏は、斯る多費の戰爭を半歲以上持續することは不可能なりと論斷して後日世間の指笑を招きたれども、往年日露戰役の將に開始されむとする際我日本第一流の財政學者は軍費總計三億圓にて足れりと確言し、之を聽くもの皆此に首肯したるを顧みるときは、今日の世界的大戰役の軍費が人の意圖の外に出づるとあるも敢て怪むに足らざるなり。開戰以來昨年七月末日まで滿三箇年間、英吉利軍費總計四百五十三億圓、獨逸三百七十八億圓、敵味方各交戰國の總軍費を合算すれば則ち二千五十億圓に上り、此割合を以て推算するときは、今年七月末日には各交戰國の軍費總額は三千二百五十億圓に上るべしと云ふ、勿論此軍費の大部分は公債なり、其資源は通貨の膨脹にあるや[illegible]と雖も、各交戰國民皆[illegible]の租税を負擔しつゝあり、今日にては多々能く益々辨ずる如くなれども、果して能く其の久しきを保つを得るや否やは疑問なり。

今日の交戰國中最も富贍に饒かにして未だ戰爭の打撃を被ぶらざる者を北米合衆國と爲す。米國は昨年四月を以て交戰國に仲間入りし、爾來既に十四箇月を經過したれども、其の戰線に於ける行動は見るに足るべきものなく、今猶ほ作戰準備中に屬す、乃ち準備中なりと云ふと雖も其の軍費を支出すると極めて巨額にして、既に支出せるもの二百六十億圓、最近大藏卿マカヅー氏の提案に依れば次年度歲出總計四百八十億圓なるべしと云ふ、米國今日の資力を以てすれば五百億圓七百億圓の軍費を支出するは決して難しとせず、專門家の言に依れば米國民は四千億圓まで調達するの能力あるべしと云ふ、四千億とは何を標準として算出せるものなりや明白ならざれども、軍費は加速動もて増加するが原則なれば、來年度の四百億をも支出するが如きは、此戰役にして兩三年繼續せば[illegible]とも二三千億圓を支出[illegible]らず、今日の戰爭は[illegible]鬪たるのみならず、又[illegible]力の爭鬪なり、米國にして其力を戰線に發揮するとなくとも、其軍費支辨力の強大無比なるを示さば、是れ亦敵國に打ち勝つ所以たるを失はず。

乃ち斯く打算し來るときは、世界各國民は過去に於ける財政家經濟學者の想像し得ざる強大なる富力を有し居れるや明白にして、假令此戰役が兩三年繼續するとも、軍資なき爲めに一方が降服し一方が克服の功を全くするといふが如きは有り得べからず、然れども是は單に戰時なるが爲めにして、果して其れだけの實力ありや否やは戰後財政經濟の跡始末を爲すに及びて初めて明白となるべく、今日は戰爭最中なりとて無理に無理を重ね、遣繰算段を爲すも、一朝平和回復するときは、案外なる傾覆倒潰者を出すやも知るべからず。

總督北巡の勞を謝す

子爵　趙重應

今回長谷川總督の北鮮巡視は御老體ではあり僻遠の地ではあり平安に歸京せられんことを祈つて居つたが無事歸京せられたのは慶賀に堪へぬ。而して總督が親ら此の僻遠な地を巡視されたことに就いて咸鏡北道人殊に鏡城、穩城地方の父老の悅び一方ならざりしとの報に接した。予は永らく病氣の爲めに長谷川總督には勿論隨行の人にも未だ面會の機會が無いので實は御見舞を申すことも出來ないが予も此の消息に接して衷心より喜んで居る。彼の地方は六鎭と云つて隨分交通不便な土地であり由來京城の高貴な人には殆んど接したとがなかつた。長谷川總督は元朝鮮の軍司令官で彼等は恐れて居つたので今度總督の北鮮巡視については少からず心配をして居つたのであつた。然るに總督は交通不便な處で厭はれず賤が家に宿などして親しく慰問されたので彼等は全く意外に思ひ衷心より悅服したのであ

植民政策(四)　商權擴張策の梗概

獨逸の産業並に商權擴張策(十)

賀田直治

一、銀行の援助

銀行は獨逸特有の發達をなし、即ち銀行が貯蓄以外企業に關する能力を有し、一時は濫興の結果失敗したるものありしを漸次整理淘汰の上大銀行は却つて牢乎たる勢力と經驗とを有するに至り、本店の外枝銀行を各地に設け、又海外に於ても輸出向娘銀行を多數に新設し、以て工業の發達並に商權の擴張に關しあらゆる援助をなし、又銀行に依りて關係事業の分野を限ち、時々銀行自ら會社株を所有し企業の便宜並に監視をなし、敵工業を倒して自國工業に便ならしむる機能を揮ひたること

二、外交團の援助

獨逸の外交は組織的にして領事は非常に勢力を有し、實際的調査をなして商工業者に示し又時としては銀行が協力して自國商工業の發達に對し種々なる便宜を與へたること

三、獨逸工業のカルテル組織即ち海外輸出の爲め一の強固なる組合を形成し、無益なる競爭を避けて協同的に販路を開拓すること

四、自國內にはカルテルの運用に依り適當代價にて販賣すれども、外國市場に對しては競爭せんが爲め時々特別なる廉價にて投賣して敵を倒すを期すること

五、輸出獎勵金の下附又は船舶會社への補助又は海運の擴張等政府の商權擴張施設の積極的なること

六、運輸機關の整頓即ち國內に於ける鐵道網(鐵道內國三萬八千[illegible])水路(キール)港灣(漢堡ブレーメン)の施設並に船舶(一九一三年二、一〇〇[illegible])の輸出に對する活動

七、巡回手代の決死的奮鬪

顧客に便宜を圖ること

延伸取引を行ふこと

其有樣は恰かも越中富山の賣藥行商人の如く翌年拂となし努めて顧客の便宜を計ること

八、市場の征服

銀行、外交團の援助を受け當初敵と競爭し、或時は一時敵の商品を自ら取扱うて之を模造し又は金融上の不便を與へて之を倒す等巧妙に各自の協力と組織的援助とに依り逐次新市場の開拓をなしつゝあり、次に從來各地に分布せる移民の獨逸主義を鼓吹して獨逸發展の媒介たらしむること外國の工業を蠶食し壓倒し、時として自國工業を外國に企業し、工場を外國に營む傍ら外國の原料を自國に輸送するとき

獨逸人が無愛嬌なる如くにして商業的智識を有すること即ち

第一、簡易生活にて何處へも入込むこと

第二、顧客の言語を覺ゆるに速きこと

第三、販路又は顧客の嗜好に投ずべく熱心研究すること

第四、廣告術に巧妙なること

第五、新聞雜誌を巧みに利用すること

母の改良(五)

法學士　李範昇

◎於是乎女子よ眼醒めよと叫ぶのである。しかしながら眼醒むべき何の素養がないから此の素養を與ふる下準備として一般的智識を普及せしむる必要が有らうと思ふ。妻として淋しく母として不完全なる彼等は勿論學校に於て組織的教育を受けねばならないが、其れの出來ないものには簡易なる手段で平易に導く方法を講じたい。而して其の方法としては通俗講演講話に勝すものはないと信ずる。此の講演講話のみでは實績を上げ難き點が有るから先づ無料幻燈、活動寫眞及び其他の興行物を利用して彼等の來覽を誘ひ半面には俗惡なる興行物と興行場より受くる害毒を少くし半面には彼等の淋しみを公然と慰めつゝ講演等を以て幾分か素養知識を與へて其の不完全な處を漸次改良せしめたいと思ふ

◎此の開催には相當なる注意と努力を要するが、相當なる勸誘、相當に興味を惹き起すべき興行物たれば大抵好からうと思はれる。而して講演は其興行時間の三分の一或は四分の一を割き其の開催時間の始め、或は中間に家庭、衞生、育兒、其他婦人として必要なるものを話し且此れを賢寫眞演して漸次此れに趣味を持たせ興行物は單に餘興にする程度まで進ませたい。此の開催の利益に伴ふ弊害も多々有らうが一部の犧牲は甘せねばならぬ。

◎論點粗漏を極め且問題の本旨に多く觸れざるを憾むが何れ時間の餘裕あれば今少し深刻に且母の保護及び結婚の改良に付き述べたいと思ふ。今日は京城の富豪貴族に一言苦言を呈し筆を擱かう——數百萬の富を擁しつゝ商貨殖の事には血眼となり數十萬金を投じて宏大なる邸宅を構へ其の驕侈を衒るよりは其の幾分かを割き京城市中に幾つかの共同湯屋を建て、無料或は實費で貧者及び勞働者の垢を流して遣つては如何。此れ但彼等のみの幸福ならんや

(大正七年五月十九日、京都にて)

心理的妖怪(二)

文學博士　井上圓了

五月廿六日講演の梗概

然るにすべての血縁者に同時に傳はらないのは何故であるか。これも物質電氣の場合に其の電氣を聽き取る者を必要とすると同じことで、精神電氣の場合に於ても單に血縁者といふだけではまだ不十分で、やはり之を感じ得べき狀態にあらねばなりません。前にいつた四歲の子供は虛心平氣であつたから之を感ずることができたのであります。三島から幽靈が態々上總までやつて來たといふのも、實は精神電氣に感應してそれが反射して姿をあらはしたに過ぎないので、福來博士は之と反對に先方の人の心が姿をあらはすのだといはれるけれども、それならば今死にましたとか何とかいふべきであつて、單に姿をあらはしたとけではまだ不充分です。私はやはり精神電氣に感じ其の反射によつて生ずるところの幻象に過ぎないと信ずるのであります。

佐渡では狐の代りに一般に貉を恐れ之を團三郎といつて山の上に祭つてありますが、嘗て相川の人が一日山に登ると團三郎の岩穴の前にうまさうな餅が供へてあるのでそれを食つてしまつた上に當てゝ見ろといふ勢で、其のあたりに小便をしたといふ話があります。又同じ相川の人で東京から歸りに新潟から佐渡に渡つて、それから山越をして歸つて來ると、途中で例の貉が月に向つて腹鼓をうちながら面白さうに遊んで居たさうです。そこで此の人は一ついたづらをしてやらうといふ氣を起して、大きな石を抛げつけました。すると貉はびつくりして逃げ出しました。さて此の人は漸く家に歸つて來たが、留守居の者は旦那樣が二人おいでになつたといつて大騷ぎをしたのです。段々其のわけを聞いてみると、所謂旦那樣といふのが先刻歸つて來て今座敷で夕食をして居るといふとです。これは怪しからんと踏み込んで見ると、成程自分と全く同じ人が而も自分の妻と差向ひで一杯傾けて居るから、怒るまいことか已れといひさま一刀兩斷にせんとしたが、其の時彼れは落ちつきはらつていふには、自分は團三郎だお前が先刻自分にいたづらをしたから其の仇を返しに來たのだ、もうこれで歸るといつて姿は掻き消すやうになくなつたといふことです。果してこれが事實かどうかは疑問ですが、若し事實とすればどう說明を下すか、これが問題であります。これもやはり前に石を投げつけたときの感情がこゝに幻象を生んだものとしか思はれません。吾々が通常意識といふのは實は顯在意識のことであつて、動もすれば潜在意識の力を認めないで、總ての心理作用を說明しようとするから駄目なのです。此の人は石を抛げたとき面白がつて居たのでありませうけれども、內心に於てはやはり恐ろしいといふ感情があつたに相違ありません。そして此の恐ろしいといふ感情が潜在意識として存して居つて、これが精神電氣によつて家人に傳はり、こゝに幻象を生じたものと思はれるのであります。要するに彼の狐つきの如き將た天狗にさらはれた話の如きものも畢竟此の類のものであらうと思はれます(終)

鎌倉　三谷　仲(東京)

金湯剝盡舊山河。[illegible]。[illegible]。美人歌。[illegible]。荒荒禾黍多。[illegible]。魚龍沼沒去來波。[illegible]

同　興田抱生(東京)

高閣參差近外郊。浪華貝合說繁華。壽橋南北東西水。香衙金張許史家。千古人情重貴富。四圍風物簇烟花。[illegible]英雄迹。

題晃代圖　[illegible]

[illegible]春風鼓腹笑。醉歌一曲[illegible]。[illegible]

農學博士外山龜太郎先生著
實驗 蠶の遺傳
大判上製頗美製本全一冊　特價金一圓廿錢送料八錢
口繪　著者寫眞　實驗　實物寫眞　寫眞十種入

新刊　大好評大歡迎　品種公表
蠶種の改良は目下の急務、本書は蠶の遺傳に就て世界的學者として知られたる外山博士が多年の研究と實驗とになりし一せるものの其內容は蠶種の改良、蠶繭、蠶絲の増收新種の作り方等苟も蠶に關するものは全部掲げて最も平易に系統的に一々學理と實際とを示し丁寧に說述せる斯界唯一のものなり。苟も遺傳研究者は勿論蠶業に關係せらるる當局者と實際家の片時も缺くべからざる良書也。

六月號出來
蠶業之世界
蠶業に關するあらゆる最新智識を最も平易に懇切に誰にも分り易く讀んで役に立つ蠶業雜誌中日本一の模範的月刊雜誌である。今や蠶業界の好季節に際し讀者の増收を計られよ。專門大家十數名執筆
每月一日發行　定價一冊十錢　三ヶ月分三十錢　半年六十錢　一ヶ年一圓二十錢
發兌　東京神田錦町一の十六　振替東京第三四〇九番　二松堂書店
(雜誌勸誘員募集希望者は二錢郵券を添へ申込め)

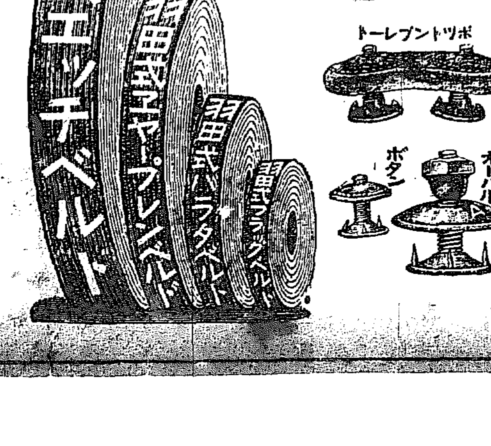
銅眞鍮線　京都府下秋月橋電上六二二　河本製線工場

拜啓初夏深綠之候益々御清祥奉慶賀候陳者今般南山商會經營の京城光熙門外硫酸安母尼亞肥料製造工場及び營業並に權利義務一切を京城工業株式會社に讓渡致し候間今後同社に對し倍舊の御愛顧を賜はり度奉懇願候乍略儀以紙上御挨拶申上候　敬白
追而南山商會は篠田玄一個人の商號として從來の通り使用仕候間之又倍舊の御引立を賜はり度奉願上候
南山商會　篠田玄一

拜啓初夏深綠之候益々御清穆奉慶賀候就ては今般南山商會經營の京城光熙門外硫酸安母尼亞肥料製造工場及び營業並に權利義務一切を繼承し益々事業を擴張し奮勵努力聊か朝鮮の産業に貢献致し度候に付何卒一層の御引立御愛顧賜はり度奉懇願候乍略儀以紙上御挨拶申上候　敬具

營業種目
硫酸アンモニア肥料　過燐酸　完全配合肥料各種　智利硝石　硫酸加里　石灰　大豆粕　鰊粕　骨粉　米糠　魚肥　其他各種肥料
本社　岐阜縣大垣市郭町
支店　京城光熙門外
京城工業株式會社　電話局二三五六番

當代第一流名家の熱話
戰後の研究 百人一話
戰後はどうなるか？本書を精讀して始めて其方針確立すべし
菊判五百五十頁　定價一圓五十錢　郵稅八錢
戰後經營の根本的精神(大隈侯爵)…軍備充實と平和運動(三宅博士)…日本親善(金子子爵)…日、米、支(石井大使)…列強の國策の樹立(大石正巳)…戰後の國際貿易(高橋男爵)…根本的國策主義(原敬太郎)…大に航空軍を擴張せよ…軍國編制の急務(佐藤中將)…戰後の事業界(池田謙三)…戰後商人の修養(佐野善作)…戰後の準備(村井吉兵衞)…戰後の工業(阪田貞一)…戰後の農業(吉住博士)…戰後の化學工業(寺野博士)…路面問題(內田嘉吉)…戰後の造船界…戰後の紡績…戰後の教育…教育前途の障害(山川健次郎)…大學の刷新(井上博士)…電氣界…道德的及身體的修養(嘉納治五郎)…戰後の婦人(澤柳博士)…世界の民主的傾向と日本の國體(浮田和民)…戰後の農村振興策…戰後の家庭生活(山脇博士)…戰後の經濟市場(早川千吉郎)…軍備充實と民間工業(東郷男爵)
其他悉く七千萬同胞が眞劍に自己當面の問題を考察すべき唯一資料に非ざるはなし、戰亂と利害を共にする商工業家は勿論、軍人、爲政者、實業家、學生、教育家を始め、戰後の經營を完うして國家の富強と各人の發展とを希ふの士は必ず一讀せざるべからず。
東京神田　富山房　振替一〇五　賣捌　全國書店

羽田式綾金具各種
製造能力東洋第一


東京 大阪　羽田調帶製造所製品販賣
京城南大門外
朝鮮總代理店　白神洋行
電話長二五一七番　電略(シ)　振替口座京城九二七

株式取引は如何にすればヨイ乎
◆株式取引とは果して如何なるもの乎？◆如何にせば株式成金となり得る乎？◆株式の損失を免れる乎？◆株式の出陣の好期は何時がよきか？◆今はドノ株を買へばキツト儲る乎？
(以上の疑問は經驗の有無を問はず入會店定期部へ御申込めば無料で詳細說明可仕候)
東京株式取引所仲買人
東京市日本橋區坂本町十八
沖野商店定期部
電話浪花(長)九三七・長四四・六四四・長二三八五・長四六五七

速記術教授(夜間)
斯術普及の爲今回其筋の許可を得て汎く一般に教授す(詳細規則は郵券二錢封入御照會あれ)
京城御成町廿三漢陽館傍
朝鮮總督府速記者　田口
朝鮮速記講習所

◇開業十五週年記念
夏物全部新荷着

氷道具一式　洋燈類並附屬品一切　硝子食器具　舶來食器具　菓子水餡瓶
商標 信
標本藥局壜　鏡類各種　印肉入　インキ入　硝子製品一切　電氣傘各種　蠅取器各種
自祝特別大勉強仕候◇
京城本町二丁目　長門屋商店　橋本信次郎
電話一三二　振替一八一七三

（明治四十三年九月十八日第三種郵便物認可）

軍需局官制發布

軍需評議會官制＝卅一日發表

軍需局官制並に軍需評議會官制は卅一日午後四時發布されたり

▼軍需局官制

第一條 軍需局は内閣總理大臣の管轄に屬し軍需工業動員法施行に關する事項を統轄す

第二條 軍需局に左の職員を置く

總裁、軍需次官二人、局長一人、書記官專任二人、屬及び技手專任十人

第三條 前條職員の外軍需局に參與官及び事務官を置く事を得

第四條 總裁は内閣總理大臣を以て是れに當つ總裁は局務を總理す

第五條 次官は陸軍次官及び海軍次官を以て是れに當つ、次官は總裁を補佐し總裁事故ある時は其の職務を代理す

第六條 局長は總裁及び次官の命を受け局務を掌理す（第七條より第十二條迄略す）

▼軍需評議會

軍需評議會官制に依れば同會は内閣總理大臣の監督に屬し軍需工業動員法第十五條第一項の規定に依る事務を司り猶總理大臣の諮問に依り軍需工業動員法施行に關する事項を調査審議し意見を開陳するものにて會長一人副會長一人及び評議員五十人以内を以て組織し會長副會長は總理大臣の奏請に依り勅命し評議員は總理大臣の奏請に依り關係各廳高等官及び學識經驗ある者の中より内閣にて命ずる者なり

▼軍需局職員

三十一日軍需局官制、軍需評議會官制發布と同時に左の如く職員の任命ありたり（東京特電）

任軍需局總裁 内閣總理大臣伯爵 寺内正毅

任軍需局次官 陸軍次官 山田隆一

海軍次官 栃内曾次郎

任軍需局長 法制局參事官 原象一郎

斯種の協約は嚆矢

眞相明かなるに及んで疑團氷解

東京駐剳支那公使館當參事談＝最も親密なる可き日支兩國が共同して外患を除かんとする協約の具體的成立を見るに至りしは兩國の爲め最も悦ぶ可し唯だ事前に於て學生中に之れを誤解し妄動せる者ありしは遺憾に堪へず蓋し支那は外國と協約を締結せるは之れを以て嚆矢とする故に之れが事情に通せず狼狽したるものにして其他に一部の極端なる疑誤解せる者を生じ更に一方之れを政爭の具に供せんとする者ありたるも眞相一度明かなるに及びて渠等も疑念氷解せるのみならず兩國の爲に欣幸とす可きを諒知したるならん（東京特電）

▲萬一に備ふる爲め

ジャパン、アドヴァータイザー紙主筆パイアス氏談＝予は日支新協約を歡迎す同協約は日支兩國に有益なるのみならず聯合國にも有益なればなり同協約は共同の敵に對し軍事行動を執るの必要ある時にのみ有效なれば西伯利出兵を斷行せざる限り何等の意味無きものと思惟する者あれども西伯利出兵の必要は何時起るやも知る可らず必要目睫の間に迫りて此協約を爲すは既に遲し予は萬一に備ふる爲め斯かる軍事協約の成立を悦ぶ假りに新協約無くして獨軍が極東の平和を脅かす事ありとせんか支那の承諾無くして日本は支那の領土に兵を入るる事能はず徒らに劍戟を握りて敵の暴行を傍觀するの已む無きに至る可し新協約の成立に依り此危險は一掃せられたるものと謂ふ可し（東京特電）

協約と支那海軍

日支軍事協約成立の結果海軍部と重要協議を遂ぐ可く海軍總司令は長江方面より六月二日入京し海軍總長と會見せんとす猶南北妥協成立せば南方の艦隊は上海に回航し檢閲を行はる可し（北京特電）

獨潜艇出沒の誤報

[illegible]

在支邦人損害要求

林公使は長沙重慶成都在留邦人の南北戰爭より受けたる損害に對し支那政府に對し正式に賠償要求を爲せるが英國公使も亦同時に同樣の要求を爲したり（北京特電）

曹錕引上と恐慌

曹錕氏は病氣靜養と稱し中央政府と充分の打合せを了せず三十日突然天津に引揚げたり政府は如何ともする能はず焦慮甚だしく主戰派恐慌を來せり（北京特電）

曹錕の第一路 總司令部

漢口に於ける曹錕の第一路總司令部は曹錕氏の病氣の爲め天津に移すべく二十日來移駐中なり（北京電報）

○青木中將歸朝

支那軍事顧問青木中將は卅一日大阪商船嘉義丸にて門司着海路東上の途に就けり（門司特電）

○光瑞師奉天行

大谷光瑞師は床次政友會總務と會見の爲め三十一日朝奉天に向ひたり（大連特電）

○露領事觀光

露國吉林領事ウラジミル氏は日本觀光の爲め卅一日午後六時半安東發列車にて南下せるが歸途は東京より大連に赴き歸任の豫定也（安東特電）

コ提督態度疑問

或る勢力を頼みにセ軍を妨害す

哈爾賓陸軍の要職にあるコルチヤク提督は其の背後に○○○（責任ある地位の者）なる小策士を控へ居り動もすれば傲岸不遜の態度の下に跋扈せんとし特に○○の勢力を振り翳してセミヨノフ隊長の活動に百方妨害を加へ近く其の部下八百名を率ゐてムーリン（東清鐵道東部沿線）に到らんとしつゝあるが同地は既にポグラニーチナヤ（露支國境）のカルムコフが沿海州四萬の哥薩克の首領たるの勢力を以て蟠居しホルワツト長官の援助を得て近く一旗擧げんと目論める此際コルチヤクの行動は疑問に堪へず（哈爾賓特電）

セ軍援助交渉解決

セ隊長出陣＝將卒士氣振ふ

種々交渉遲延せる爲め哈爾賓滯在中のセミヨノフ隊長ホルワツト長官との間に四十萬留の現金武器被服等の授受を了したる依り二十九日夜戰場に向ひたり同軍の將卒は財政の缺乏に依り窮狀に陷り居りしが此の援助解決と共に再び奮起すべく豫期せらる尚過激派は今やオノン河を渡り左右より迂回しオノンより東方四十露里滿洲里の西方百八十露里の地點たるブルガ驛に迫り來れるがセミヨノフ隊長陣頭に起たば之を驅逐する容易なるべし（哈爾賓電報）

獨軍ソアソンに達す

獨軍はソアソンの外廓に到達し

獨逸公報に據れば獨軍はソアソンの外廓に到達したりと（倫敦電報）

船舶提供と米滿足

最近の協定の下に日本造船家が船舶の建造及び廻漕に就て迅速に契約を了したる事に就き米國官憲は非常なる滿足の意を表せり契約調印をなしたる船舶は三十隻にして其の總噸數は二十四萬六千噸なり米國政府は既に日本造船家に契約せる造船材料を發送しつゝあり（華盛頓電報）

禁輸取消

米國戰時通商局は嚢に輸入禁止品として禁輸表中に發表せし紙類の輸入禁止を取消し或種類の日本紙の輸入を許可せり（華盛頓電報）

英皇弟接件員

三十一日左の如くコンノート殿下接伴員仰せ付られたり（東京特電）

元帥子爵 川村景明

元帥 伊集院五郎

宗秩寮總裁 井上勝之助

式部官 稻葉正縄

總領事 古谷重綱

海軍中佐 今村信次郎

陸軍步兵中佐 二宮治重

銀行支配人の六萬圓費消

[illegible]

滿鐵露貨換算率

[illegible]

「陸奥」起工式

六月一日磯艦陸奥の起工式横須賀にて行はる可し（東京特電）

朝鮮民事令改正決定

朝鮮民事令改正の件は三十一日の閣議に附議決定せり（東京特電）

○林文學博士來鮮

東京高等師範教授林文學博士は上海より中部支那方面視察中の處卅一日午後六時半安東發列車にて南下京城に立寄り歸任の豫定也（安東特電）

○石原博士轉地

旅順工科學堂教授石原博士は嚢に汕疔にて滿鐵病院に入り療養の際天然痘に感染し頃日に至り稍々快方に赴きたるを以て別府へ轉地療養の爲め三十一日午後六時半發列車にて南下せり（安東特電）

將來の馬政

淺川長官を迎へて

前田高等警察課長談

卅一日夜入京した淺川馬政局長官は朝鮮に於ける將來の馬政に就て視察するのであらうと思はれるが私は中將が陸軍省の騎兵課長時代に其課員として馬政の事に當つて居た關係上入京を機會に馬に就いて何か講演を乞ひ朝鮮に於ける産馬事業の發達の一助に資したいと考へて居る、言ふまでもなく馬は國軍の編成上重要なものであるが世の中が進めば進む程自動車其他機械力に依る交通運輸の機關が增加するため馬の需要が減ずる需要が衰へれば産馬事業が不振に傾くのは自然的現象で奈何とも致し方ない事ではあるが軍政上から觀るとどうも寒心に堪へない一朝有事の際は常備軍の何十倍かに相當する大軍を要する事は歐洲戰爭に依つて經驗されつゝある此等は皆在郷軍人の徴集に俟たねばならぬ軍馬も又同樣で在郷馬が豐富であつてこそ編成上遺憾無きを期する事が出來るのであるから日本などでは將來盛んに産馬の普及發達を計らねばならぬ事は私の贅言を俟つまでもない、開處で朝鮮などでも在來の馬を日本種に改良して一は經濟上に益し一は▲軍國多事の際に何時でも之を引き上げ得るやうにせなければならない、幸ひ中將は日本に於ける馬政家の權威として此方面には造詣深いから以上の如き根本趣意の下に有益な講演をされる事と信ずる單に馬に對して趣味を有せらるゝ人許りでなく一般紳士が大に來聽せられん事を希望する

露國情報一束

[illegible]

朝郵新造船

朝鮮郵船會社より今回横濱船渠會社に註文する事となりたる二千噸級船は一兩日前吉田船舶課助役設計書を携帶東上原田會長より船渠會社に交渉開始の筈なるが新船は貨客船にて無線電信の設備をも加へ又北鮮方面より裏日本に生魚を輸送する場合などを想定し冷藏庫の設備をも加ふる由なり

○宇佐美長官歸期

東上中の宇佐美内務部長官は五月末歸任の豫定なりしも用務の都合に依り延期歸任期は未だ確定せざる由

○小原長官歸任期

地方視察中の小原農商工部長官は六月四日歸任の筈なりしも途中自動車に故障を生じたる爲め一日延期し五日歸任すべしと

○森安博士陞叙

總督府醫院醫官醫學博士森安連吉氏は廿八日附を以て勅任四等に陞叙されたり

○淺川中將入京

馬政局長官淺川敏靖中將は成歡水原を經て三十一日午後七時四十分南大門驛著入京朝鮮ホテルに投じたるが驛及び途中まで高橋少將外武官多數野口技師權藤事務官等の出迎ひ多かりき

○立花師團長歸師

兵站演習統師の爲め木浦全州方面出張中の立花第十九師團長は一日午後八時五十六分龍山著列車にて大沼副官帶同歸任すべし

○市川參謀長消息

第十九師團兵站演習統師補助の爲め木浦全州方面出張中なりし市川軍參謀長は四日歸任の筈なり

○廣瀨經理部長

軍經理部長廣瀨主計監は三十一日朝出發土地及び建物視察の爲め咸興へ出張六月四日歸任の豫定なり

○東拓金堤所長

東拓金堤出張所長小山光利氏は某方面に轉任しその後任として支店詰參事佐瀨直衞氏赴任する事となり六月一日附發表すべし

○和田總務課長出張

和田土地調査局總務課長は北海道連絡地圖調製事務其の他に關する調査囑託に應ずる爲め同道管内及び東京に出張を命ぜられ一日午後七時五十分南大門驛發出發すべし

●山下商海氏逝去

京城商業專修學校講師南海山下次郎氏は病氣中の處二十九日午後零時三十分逝去せり、享年四十九

●軍司令官張宴

松川軍司令官は三十日午後六時半同官邸に於て晩餐會を開き芳賀總督府醫院長及び目下會議列席の爲め入京中の慈惠醫院長等三十餘名を招待せり

●京城工業披露宴

京城光熙門外南山商會は多年硫酸安母尼亞肥料製造に從事し居る處新たに創立せられし京城工業株式會社に於て右事業を讓受け將來益々業務の擴張を圖る事となりたるを以て同社長坂口拙三南山商會篠田玄一の兩氏は五月卅一日夕在京各方面の人士及び記者團を朝鮮ホテルに招待して披露宴を張れり

人事消息

△新井虎太郎氏（京城藥業組合長） 先月來朝鮮藥學校設立に關し東上中の處一日夜歸京の筈

△和田維四郎氏（上院議員） 釜山より卅一日入京天眞樓へ

△熊平源藏氏（廣島商業會議所議員） 卅一日夜入京山本旅館へ

△近藤喜治氏（東洋製紙會社員） 同上

△石渡信太郎氏（九州製鋼取締） 同上京城ホテルへ

百聞百種

今年は代議士の厄年とでもいふのか死去者が相踵ぐの有樣に政友會の近年頗る温和しく成つた井上[illegible]將軍スッカリ氣を腐して了ひ色々に健康增進法を試みて居る中に不老不死の靈藥といふを發見し此頃では毎日[illegible]がな隙がな製藥所に詰かけて居るさうだが妙なもので心からか大分將軍の顏が若返つて見ゆるとの噂▲腦脊髓病專門の大家土田卯三郎博士は元の濟生學舍の出身で所謂私學派の權威であるが常に大の吳秀三博士の後繼者を以て目され居る學士林道輪氏とは事ごとに學術上の意見を異にし斯學の學會又は雜誌上で互に論難攻擊を加へ恰も犬猿の間柄である▲處で土田博士は本年の二月から心臟病に罹つて一時重態に陷つたが其際博士は其經營に係る腦脊髓病院を誰に託したものかと後繼者を物色したが何うも考へて見ても林學士に越す人が無い▲乃で病苦を押して筆を執り吳秀三博士に宛て林學士と共に後事を引受けて戴きたいといふ依賴狀を書いた▲之を受取つた吳博士と林學士とは事の意外に驚くと同時に土田博士の態度に感服して快く承諾した（其の後土田博士の病氣は幸に段々快方に向ひ最近轉地先から東京に歸つたが吳博士は一週一回林學士は一週二回宛病院を見廻り患者の世話をして居る洵に學界の美談胸のスク樣な心地がする

公告

京城地方法院

左ノ不動產ヲ左ノ日時ニ競賣ニ付ス入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

● 京城府昌信洞百貳拾番地
一、垈參拾四坪 最低競賣價額金貳百拾九圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟 此建坪八坪九合九勺
附屬建物 木造瓦葺平家建壹棟 此建坪參坪八合
最低競賣價額金八拾五圓也
右不動產所有者 李聖潤 競賣申立人 李云根

● 高陽郡漢芝面下往十里九四九番地
一、田參百九拾貳坪 最低競賣價額金百參拾八圓也
一、同郡纛島面西纛島里壹八七番地
一、垈壹百貳拾貳坪 最低競賣價額金七拾參圓也
右不動產所有者 池龍起 競賣申立人 金義鎭

● 高陽郡纛島面離馬場里壹七七番地
一、田參百貳拾九坪 最低競賣價額金五拾九圓貳拾錢也
一、同所四六番地
一、木造草葺平家建本家壹棟 此建坪拾壹坪五合
最低競賣價額金八拾圓五拾錢也
右不動產所有者 韓昇東 競賣申立人 金千成

● 高陽郡恩平面佛光里貳五七番地
一、垈貳百〇五坪 最低競賣價額金貳拾九圓參拾錢也
一、同所貳〇八番地 池沼貳百八拾坪 最低競賣價額金貳拾貳圓四拾錢也
一、同所五九番地 田參千參百[illegible]坪 最低競賣價額金貳百四拾[illegible]圓也
一、同所六〇番地 田壹千四百五拾壹坪 最低競賣價額金參百四拾八圓也
一、同所貳五番地 垈壹百拾五坪 最低競賣價額金貳拾六圓五拾錢也
[illegible]

● 京城府昌信洞九拾番地
一、垈參拾參坪 最低競賣價額金六拾五圓也
右地上ニ建設
一、木造草葺平家建本家壹棟 此建坪拾參坪壹合
最低競賣價額金壹百圓也
右不動產所有者 朴森[illegible] 競賣申立人 朴[illegible]

● 京城府光化門通四拾六番地
一、垈參拾參坪 最低競賣價額金參百六拾參圓也
右地上ニ建設
一、木造草葺平家建本家壹棟 此建坪八坪壹合
一、木造草葺平家建壹棟 此建坪五坪武勺
最低競賣價額金[illegible]
右不動產所有者 [illegible] 競賣申立人 朴[illegible]

● 京城府安國洞六拾四番地
一、垈百貳拾坪 最低競賣價額金七百七拾八圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟 此建坪四拾壹坪六合四勺
最低競賣價額金八百五拾四圓也
右不動產所有者 吉田[illegible] 競賣申立人 [illegible]

● 始興郡西二面飛山里五八〇番地
一、垈壹千四百五拾貳坪 最低競賣價額金貳百九拾圓也
一、同所七九六番地 [illegible] 最低競賣價額金參百參拾五圓也
[illegible]
右不動產所有者 李康治 競賣申立人 [illegible]

● 京城府芳山町六拾五番地
一、垈參拾坪 最低競賣價額金九拾圓也
右地上ニ建設
一、木造草葺平家建本家壹棟 此建坪拾參坪八合八勺
最低競賣價額金九拾貳圓五拾圓也
右不動產所有者 李[illegible] 吳[illegible] 競賣申立人 朴淸田

以上競賣期日ハ大正七年六月十二日午前十時トス

山林鑛山 賣買收仲介 鑛林社
大阪市土佐堀通車停留場 電話土佐堀一〇二七番 二八〇六番 一二〇四番

藥學生徒募集
來六月十日ヨリ新學期授業ヲ開始ス入學願書受付六月五日迄トス規則入用ノ向ハ郵券封入本所ヘ申込アルベシ
大正七年五月 日
京城府大門通新井藥房内
朝鮮藥學校設立事務所

中村眼鏡店

京城本町
電話壹壹七番・振替京城三四六番

舟遊びには
漢江 遊船倶樂部
龍山電話一〇番へ
△御一報次第參上▽

富の道しるべ
山將五十雄・村上唯吉共著 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 京日報社代理部 振替京城三〇〇番

京日案內
[illegible]

◎電話讓受たし 黄金町三丁目二九一 三島旅館 電二九八八番
◎新聞[illegible]民登錄[illegible]社 京城旭町一丁目二番地の二
◎女事務員募集 希望者は履歷持參あれ（電話二二五〇番） 一丁目上る 朝鮮皮商社
◎乳母入用 但御育致してもよし 太平町二丁目四五 更科支店 電話六九八番
店員募集 年齡十七八歲の丙地人を要す 希望者は履歷書携帶來談あれ 市外纛島 山本
生後二十日男子にして血統正しく壯健なる者愛兒の方に遣りたし（姓名任社）
◎女髮結すき手至急入用 十四五歲より十七八歲迄 希望の方は京城讃座前 松本さ[illegible]
△看護婦急採用 希望者は自筆履歷書携帶來談あれ 京城明治町二丁目 中島小兒科醫院
左官用布海苔 銀杏草並に櫻草 全羅南道木浦府 諸海草御商 山本萬次郎商店
入院隨意 狂犬病豫防注射所 小川家畜醫院 明治町一丁目
● はねつぎ(うちみくじき) 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場
朝鮮語科 英語科 新學期 三ケ月修業 各級補缺募集 外人二名出張 南大門通漢城銀行向 京城商學會
燒酎 賣出し 味淋 果實酒 京城若草町 電話二七一四番 明神組商會
採用 商業學校又は私立商業學校卒業者 商科政治經濟科卒業者 もの採用履歷書携帶來所あれ 京城旭町二 商業興信所

最新刊
朝鮮鐵道旅行案內
詳解電氣大辭典
最近乾式試金術
實驗經濟の遺傳
謠曲新釋
大阪陣
生命の不可思議
青島攻圍陣中記
續金色夜叉
中流生活の改造
西洋草花栽培法
日蓮主義概論
使ふ人使はるゝ人
模範作文辭典
愛と憎み
新式催眠術應用自在
算術自由自在

京城本町 大阪屋號書店
（本店）東京（同店）大連、奉天

……彼の砲聲を發射せしは獨逸潛航艇……ひせるもの、思はる(桑港電報)

……判所にて取調中也(和歌山電報)

◎警報解除 (三十一日東京特電)

▲全羅南北沿岸及び内陸の警戒を解く

……勞農政府は全力を盡して糧食の供給を謀りつゝあり然るに農村……

▲捕虜取締依頼 ……捕虜事務局……

▲分蘭獨立承認 ……グフオールス來電に依れば英國政……

▲露國汽船擊沈 ……海軍部の……込めり……

◇李王殿下洪陵御展謁＝東大門外清涼里＝◇

◉李王殿下御展謁

＝古式の禮裝きらびやかに 洪陵より裕陵に

◇鞠躬四拜『後德壽宮靈廟に 李太王殿下を御問安の上御歸宮

李王殿下には豫定の通り三十一日昌德宮御出門、閔長官、國分次官祭祀課長等を隨へられ御馬車にて東大門を高陽郡崇仁面に御成りの上恒例に依り御生母閔妃の

◆◆洪陵を 御展謁相成りたり殿下は御著と共に軍服をゆるやかなる跪袍に改められ翼善冠、白皮靴と云ふ古式の禮裝きらびやかに先づ寢殿にて鞠躬四拜の禮を行はれ次いで陵上奉審の儀あり斯くて洪陵御展謁の儀を滯りなく終らるゝや

◆◆殿下は 更に御馬車を驅島面に進められ出處にて御附い女官より進むる御食事を召し食られたる後先妃安らかに眠り給ふ裕陵を御展拜遊ばされ午後二時同所御發直路德壽宮へ成らせられ

◆◆源殿 景孝殿、懿孝殿等の諸廟を一々御觀拜あり李太王殿下を御問安相成りたる上五時三十分御歸宮遊ばされたり

●歐洲戰爭と軍馬

日本の馬匹百六十萬頭は心細い

馬政局長官 淺川中將談

卅一日夜入京せし淺川中將の談に曰く飛行機の進歩自動車の發達に伴ひ軍馬の需要と云ふものは漸次減ぜらるべきものと一般も思ひ吾輩等も亦爾く考へてゐた、所が今回の世界大戰爭は以上の

◇豫想を裏切 つて戰爭に要する軍馬の用は毫も衰へない、その戰場に出てゐる數は夥しいもので、現に佛國の如き平時三百萬頭の馬乃ち日本の約二倍を有してゐるがそれで大不足を告げ亞米利加から數十萬頭の供給を受けてゐるが猶ほ足らぬやうである英國には優良の馬匹はあるけれど軍馬として適當な種類は少ないのでその屬領たる濠洲やその他から馬匹の大移入をやり又

◇佛國と同じく米國より馬匹の輸入を受けたが先づ英佛兩國の米國から供給を受けた馬匹は約一百萬頭を超ゆるであらう、獨逸には四百萬頭の馬があり墺匈國は四百五十萬頭を有してゐるから馬匹の數より英佛と獨墺の兩軍を比すると聯合軍は同盟軍に及ばぬやうだが昨年來聯合側に參戰せる米國には二千萬頭の馬があるから此點に於て

◇不足を感ず る事はあるまい、併し然し又露國の馬匹も米國と同じく二千萬頭を數ふる事が出來るから此夥しい馬を如何に獨逸が利用するかと云ふ事は頗る注目すべき問題であらう、更に今回の戰爭が何いつまで續くか分らぬが——で兩軍の軍馬の死傷は非常な數だから列強共に戰後の馬を如何にして增殖せしむるかと云ふ事を大問題として講究してゐる

◇日本の如き 漸く百六十萬頭内外では國防上より見ても心細い許しだからその增殖手段は焦眉の急と云ふべく人心を惡化せしめざる濫取締法を講じて内地の馬券の復活をなす如き一要件であらうと思はれる

◆入京せる馬政局長官淺川中將

🗎諸物價の暴騰に比較して

新聞より廉い物は無い

用紙は五割の暴騰＝倫敦タイムスの値上げに比較すれば京城日報は一箇月一圓五十錢に賣らねば引合はぬ＝代價は騰つても來月から讀者に損は無い

世界の各種の物價が暴騰しつゝある際に新聞の原料である紙は勿論の事インキでも鉛でも無機有機の諸動力でも何れも其代價が二三倍乃至十數倍にも暴騰しつゝある際新聞の代價のみは經濟の原則を無視して餘りに廉過ぎる狀態にあつた即ち我京城日報は戰前に比して僅に一回一箇月五錢の値上をしたに過ぎなかつた然るに新聞用紙は此程一度に五割と云ふ大暴騰に遭つて見れば如何に何でも此儘從來の代價で維持する事は不可能である讀者に辜負する處大なりと雖も六月一日から二十錢の値上を斷行するの已む無きに至つた次第ではあるがそれでも決して新聞は不廉いものでは無いのである日本の新聞に於て殊に然りである

▽外國の新聞

＝二十割の値上げのがある＝

參考の爲め以下少しく外國新聞の代價に就て述べて見ると何れを見ても經濟の原則通りに動いて居る事を發見する事が出來るのである即ち倫敦『タイムス』の如きは一九一三年五月五日には定價三片より二片に値下げし一九一四年三月十六日よりは更らに一片に値下げ廉價を以て新聞界を驚かしたものであるが一昨年即ち一九一六年一月二十日より一片半に値上げし、昨年即ち一九一七年二月二十日より二片に値上し、更らに本年即ち一九一八年三月十一日より三片に値上し開戰當時一枚四錢のものが

▲今では約十二錢 と云つて居る此割で京城日報を値上すれば一箇月一圓五十錢に賣らなければ引合はぬ勘定になる更らに倫敦の『デーリー、メール』の如きは從來半片新聞として其新聞代價の格外に低廉であつたが爲めに百萬以上の讀者を有したにも拘らず開戰以來其の代價を倍とし一片とし從來八頁を原則とし十二頁、十頁、八頁と

▲其の折々に發刊 し來つたものが本年になつては絕對に四頁新聞とした即ち代價は倍し頁數は半減した事實に於て二十割の値上げである。斯樣な變化の例を擧げるなら幾程でもある米國に於ても同樣の現象である世界の新聞界の大勢斯くの如くであるに拘らず頁數も依然たり代價も僅に半倍を增したに過ぎぬ普通の人から考へられたら

▲新聞社の算盤は 普通商人の算盤とは全く別種のものかさりとは新聞社は黃金打出の小槌を所持するのではあるまいか將た又新聞事業なるものは一種の慈善事業かと疑ふた東京人もあつた位である。

▽古新聞の價

＝一箇月分廿四錢になる＝

新聞が社會の耳目となり教科書となるのみでなく古新聞の利用は讀者が平常見らるゝ通りである東京の御茶水教育博物館で此の十五日から廢物利用展覽會が開かれる事になつてゐるがそれには新聞紙で美事な菓子器を作つたものもある近頃の古新聞紙の相場は一貫目七十錢するが之れを京城日報の夕刊朝刊一日分十一匁五分三十日分三百四十五匁として計算して見たら廿四錢一厘五毛となる

▽新活字使用

＝來月から二萬四千字增加＝

又記事に於ても決して讀者は損をしない事になるそれは來る七月一日から本社では從來の九ポイント半の活字を全部廢して八ポイントを採用する事になつて居るから現在の一頁十五字詰六十五行十段のものが新活字では一頁十五字詰八十行十一段となる之れを字數で比較して見ると

▲一頁に就て八千 二百七十五字、一日分八頁では實に二萬四千六百字を增加しそれ丈け記事が增加し事實に於て紙數を增加した結果になる譯である之れを金高に見積つて九ポイント活字を使用した時は二千百十三字に就き一錢の割であつたものが八ポイント半の活字では一錢で二千二百九十一字即ち前よりも

▲百七十八字多く 讀める勘定になる實際新聞社としては現今の紙價暴騰の狀態では紙に印刷せずして白紙の儘を賣つた方が儲かる時代である斯樣に考へて見ると何と云つても新聞より廉い物は無いと云ふ事になるのである

◉宗信丸詳報

全員無事上陸 船體引揚不可能

既報宗信丸沈沒につき更に鎭南浦海事局出張所及び取扱店中村組等にて聞く處を詳報せんに同船は乘客

◆鎭南浦 三和町原田方楊原丹治(二三)世界無錢旅行者松尾末藏(二四)の一名及び荷物としては雜貨、馬場、齋藤各商店よりの精米三斗入合計二千百二十叺(價格一萬六千二百圓)を搭載し居たるものにて遭難狀況既報の如く

◆俄かに 船底より浸水し船員總掛にて防水及び排水を爲しつゝ全速力にて陸に近づかんと引返せしも浸水次第に激しく午前二時頃遂に汽水機關亂を發して運轉の用を爲さざるに至り茲に全く進退の自由を失ひたれば船長は意を決して錨を卸し乘客及び乘組員を

◆端艇に て西島燈臺に送りて避難せしめ自らは本船に止まりて監視の責任を全うしたるが斯くて二十八日午前九時三、全く沈沒するに至りて同船を離れたるものにてこれより先事務長は右遭難の次第を電報する爲め松禾に到らんと水夫七名を率ゐて端艇を漕ぎ行く途中折好く椒島より歸航中の南浦汽船工保丸に出遭ひ同船に便乘して午後四時南浦に歸着したり

◆中村組 はこの報告を得て即時小蒸汽寶安丸の外稅關の鎭洋丸に人夫卅餘名セメント其の他防水材料を積みて午後五時出發救助の爲め現場に急行せしも已に船體は全部沈下して手の著け樣無き儘途中より引返したるものにて海事局にては燈臺巡視船鴨川丸が

◆巡視日 とて午前十時發下流に向ひ午後三時頃西島燈臺に近づくや燈臺より遭難者ありとの信號に西島に回航避難者全部を同船に收容して同夜九時歸著

◆一同無 事なるを得たるなり因みに乘組員は船長大庭磯次氏以下二十一名にて船は明治三十七年七月の建造二百三十噸の木造にして船齡老朽船に屬する方なりと尚ほ沈沒當日は天候靜穩にして風浪の危險暗礁の障害等有りしに非ず浸水の原因に就いては取調中にて沈沒箇所は深さ卅尋あり到底引揚は不可能ならんと

▲宗信の代船は 當分不可能乎

鎭南浦大連間の唯一航路船宗信丸沈沒に付き朝鮮郵船本社の船舶課員は廿九日來南取扱店中村組に在りて種々善後策を講じ居れるが何分先きの宗信丸の就航も非常の差繰りを行ひて決行したる次第なれば差當り代船として同會社より船繰りを着くる餘裕なく當分の内は休航の外なかるべしと云へるが若し休航ふべくんば現に仁川大連間の就航止める丸を以て三角航路を探らしめ得る事ともならば勿怪の幸ひなりと語り居たり尚朝鮮郵船本社にては浮揚せしめ得べくんば機械にても引揚げん方針にて出張中の同社員は現場を調査すべく目下オハヨー號の引揚作業中なる潜水夫に交渉中なりと

◉高女生團來らん

東京第一高女校

東京第一高等女學校生徒二十五名は今回季休暇を利用し朝鮮より滿洲を經北京より青島、漢口、上海等の各地を視察修學旅行を爲すに決せり七月二十日頃出發す可し(東京特電)

◉大連埠頭の怪火

支那人の放火か 大豆六十車燒失

卅日午後大連埠頭野積の大豆より又復出火し大豆六十車一千八百噸を燒失せり埠頭の怪火につき犯人と覺しき支那人二名を逮捕したるが原因は何れも放火なるらしく種々の取沙汰行はれ居れり(大連特電)

◉混合列車接衝

三十日午後十時五十分仁川發南大門行第二百十五號列車(混合)梧柳洞驛に著驛せんとする際制動機に故障を生じ豫定の停車位置を通過し仁川方面行構內信號機外まで進出したる爲め仁川行二百十六號終列車(混合)に衝突し貨車一輛の聯結器其他破損し乘客一名窓に凭れて假眠中頭部を窓硝子に打ち當て輕傷を負ひしのみにて何等損害なし

◉入江三郎の兄

亦拔刀にて暴る

殺人狂入江三郎の實兄入江秀一は兵庫縣武庫郡西灘村に於て拔刀にて暴れたるより三郎同樣神戸の腦病院に收容せり(神戸電報)

◉水揚二萬尾

＝元山の鯛漁 下關に輸送開始

元山灣内鯛漁は當さに盛漁期に入れり三十日より三十一日朝にかけ水揚高二萬餘に及べり中七千尾を市場に揚げ其他は日本水産會社の手に依り沖渡にて三十一日より下關へ輸送を開始せり(元山特電)

◉僞造紙幣發見

鴨川の叢中から

京都川端竟神橋北鴨川畔の叢中より僞造紙幣五十錢のもの百二十枚を發見したり(京都電報)

◉神戸火事損害

神戸榮町の火事は損害額十六萬圓にて巡査、消防隊哇瓜人等十一名の負傷者を出したり(神戸電報)

天勝一座

京城日報讀者優待割引券

割引料金		普通料金	
特等	一圓	特等	一圓廿錢
一等	六十錢	一等	八十錢
二等	五十錢	二等	六十錢
三等	三十錢	三等	四十錢

天勝一座は引續大入二日間延期す本券も同樣綴込刷込む御使用差支なし

京城日報社

夏物大賣出し 六月一日ヨリ

◎特價提供 一反壹圓五拾錢均一

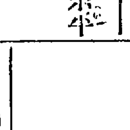
納戸地浴衣 壹萬反限 參千反

鑄地縮中絣 六千反

正紺縞新柄 壹千反

送料(京城内地拾武錢、滿鮮臺灣毎に六錢)

大阪心齋橋一丁目 白木屋吳服店 (振替口座四三一番)



▲天下の糸平 こ萩江

大正館にては三十一日より全部新替へと差替へたるが今回の呼び物なるべき喜劇は泰西人情劇「女運轉手」八千尺及び例の松之助の明治時代に於ける名物男天下の糸平全五卷にして天下の糸平とは維新當時車夫より立身して當時の豪商となれる田中糸平にしてその生涯は頗る變化多く痛快なるものあり、亦京城ら珍らしき劇たるべし新派劇「秋江」は某雜誌に連載されしものにして例の改良式の悲劇なれば喝采を博するなるべく以上の外に實寫リザイラの滑稽、滑稽活劇チヤプリンの牛等あり

▲青鳥入會 有樂館にては既報の如くユニヴアーサル會社の傑作寫眞森林美談「人の力」人情活劇「アンプロシヤ」教育お伽劇「月宮殿」各五卷の三種を一時に出せるブリユーバード大會にて開會せるが以上の寫眞は三種共その内容充實せるものにして且つ卑猥なる點更になく少年少女の觀覽を獎むるに適せざるものにして特に今回はサツポロビールの大々的後援あり本紙の割引券を持參する向きには各等半額の特點あり且つ記念繪葉書を先客五百名に贈るといへば觀覽者は更に多かるべく盛況を呈するなるべし

▲天勝割引 本紙に刷り込みある讀者部の天勝一座の割引入場券は三十一日限りとありしも同一座京城興行中は通用することゝなり居れり

▲浪花節 浪花節眞事常虎若、德川家辰右衛門、千葉家九州男三名合同の鏡新舍にて開演中なるが何れもそれぞれ語り口に變化あり入場料の低廉なる等にて好評を博し居れり

◉鑛業の智識を得んとする者は見よ

鑛業講習錄 新學期開講入學の絕好期

本校は ◉校則は申込次第贈呈 目下入學者には特點あり

大日本通信鑛山學校朝鮮支部

謹告

硝子瓶三割値上げ仕候

大正七年六月一日

京城林町 小野玻璃器製造所 電話二七九一番

京城古市町 製瓶部 畑兄弟硝子製造部 電話二七四六番

瓶類特約店 京城黃金町二丁目 村上硝子瓶店 電話二三四番 振替口座二三六番

電鈴 乾電池 京城朝鮮銀行横 ヒオキ商會

漢江遊船 共樂社 龍山元町四丁目漢江畔電車終點 電話五二八番 社主 富山武盛

◎病院開設 内科 小兒科 外科 花柳病 皮膚病

京城本町四丁目(元金井眼科醫院跡) 内田病院 院長 内田熊治 電話三一六番

◎限る 肴は生きた「川魚」 酒は「白鶴」 夏向の御一酌は……出雲屋に限る

▲電車は朝鮮銀行前にて御下車下さい 京城旭町一丁目 電話一八一五番

京城三ツ矢サイダー組合

組合員 龜屋商店 河野出張所 辻本商店 山邑支店 藤田商店

事務所 京城明治町 山邑支店

勸業債券販賣者募集

▲代理店、支部長、單獨販賣員、月收卅圓以上、希望者履歷書送れ

▲當商會は一般社會に定評あり、又確實なる生ける證明無數にあり

▲募集材料極めて豐富、全國樞要の地に販賣店多數あり

東京麴町九の内 聯合商會債券部

花吹雪

大阪　中谷青霞

（四十八）

『むー強て聞及ぶ井戸清兵衛とは汝よな、遊女唐土を奪ひ取らんと企てしも、究竟な事を誘き寄せん策略なりしに、鮒釣る針に鯉が上つて、圖らずの對面物稀のこと、柳川かねての馳走、饗應の用意しやれ。』

と藏十郎は徐き乍ら、四邊に氣を配つて眼顔の合圖。

『心得て御座ります。』

と柳川は頷き乍ら。

『さては妙見院で居士と入替り、我等に一泡吹かして見せん策略なりしな、うふゝゝゝ飛んで火に入る夏の蟲物稀の事ぢやわ。』

と弱味を見せぬ胴間聲。

『おゝ、曇涯律師が言葉に服し、退いて歸つた裏の心は、改めて妙見院に當即から係け合ふか、歸途を待て奪ひ取るか、二つに一つの手段と見透ゑ入れ替つたとは思ひも寄らず、唐土と心得てこれまで連れて來しは運の盡き、笑止千萬なれど最早汝等には要はない、一言申上げたいは當家の御主人讃十郎様。』

云乍ら縁側にどつかと腰を押する。

『浪人の便きなさ、血迷うての世迷言聞く耳は持たぬ。』

讃十郎は脇差引寄せて、油斷なき身構へ。

『さな仰せられな、當家は聞ゆる武道のお家、高が素浪人の清兵衛一人を引立てもなされず、遊女を囮に誘き寄せんなざゝは、恐れ乍ら御卑怯な御計略で御座りませう、それでも備兵馬様唐土に思ひをかけられ、戀の意地ともおはすならば餘儀もない儀なれど、當家御遺根の筋はこの清兵衛兵馬様を引擒ぎ、御門前に投げ出したを武道の意地に拘はる事と、思召しての御意趣かと胸算まする、されどそは一應の御憤り、素性も知れぬ町奴共に取巻かれ天下に人なき兵馬様御擧動は、お家の御瑕瑾にもならうと思寄つての御意見、某が胸中御推量下されば御勘氣のお言葉は給らうとも、お恨み受けやう覺えは更らに御座りませぬ、なれど一端の御意趣と前主人瓶母も御當家武道の面を立て某に暇下され、身の過りと浪人致せし今日、尚執念くも附纒うての御憎しみは、餘りと申せば餘りの御執著、今は早御恨みを晴され、某は兎もあれ、兩家の御交誼偏に願はしう御座ります。』

理非の分別明らかに、只管面を犯して述べ立てる清兵衛、讃十郎は額を左右に振つて。

『云ふな清兵衛、一端の意趣は浪人したとあれば最早それまで、なれど武士の面は何立たぬわ、兵馬に意見の心とあらば禮も云はう、それ例の盃持てッ。』

と激しく呼ぶ聲、應じて一人の小姓銚子盃持ち出づる。

『それ盃とらせる、酌して遣はせ。』

手づから取て清兵衛に差す、小姓は恐る〳〵進み寄つて注ぐ盃、清兵衛は無言にじつと受けて一口つけ。

『やゝこは不詳なる水盃、さては某を……。』

『おゝさ、此世の暇取らした上、月岡が家門に投入れ、武道の意地を立つるのぢやわ。』

『ほーさほど迄に御執念とあらば已むを得ぬ儀、ならば手柄に切つてお見やれ。』

と清兵衛は盃はたと投げて、すつくと立上る。

『おゝ、隅田堤の遺恨の太刀先、見事受けて見やれ』

と最前より手具脛引いた柳川、町奴共も抜きつれて、清兵衛を中に追取圍んだ。

日報俳壇

■木枯會詠草（慶南居昌）

春深し

紺碧の海照る寺や春深き　露川
春深き小島の磯や雜木山　矢心

夕霞

鯨居る浦の人數や夕霞　松月
薬草を掘る明霞む尾上哉　矢心
潮に落つる網野の影や遠霞　辞月
事務室の窓に霞る小鳥哉　溪橋
舟に焚く黒き烟や夕霞　千曲
眼科醫の門深く住む霞哉　秀山

水温む

水温む盥に屋根が映り居る　居昌
架橋急ぐ人夫唄や水温む　法眼

春の雨

芋の芽の黄ろ萌ゆ春の雨　矢心
空に浮ぶ潜揚楼や春の雨　幹月

◉紅皿詩社送別短歌會

五月二十五日夜、近く東都に去る劉果、よし二の二君が紅皿詩社に去る、會するもの七名、折柄の静かなる雨のうちにて―

■送別　豊世郎

別るゝと夜なくたちして濃くもいでし悲しみかひそさいるゝ淋しし

○　三光島

遠かたの夕やけ空よわが友の旅いづる日の明日とはなりぬ

○　居之助

夕ぐもる南門前をしのびつゝわれ二君を東都に送る

○　俊文枝

親しけく吾を呼びにける君はしもポプラの芽ぐむ五月ぞ旅たつ

○ 歩くみどり樹々は緑の薬の色初夏のくに君を送るも

■留別　豊果

友と別るこの悲しみをいかにせむ水無月の空に心は泣けも

○ 夕されば天地なべてをことはに静もる如し我にゆく我に　よし二

新刊紹介（到着順）

▲孔雀帥後篇（佐藤紅緑作）財界の傑物と稱せられたる人が自由自在に縫るに至るといふ筋にて其間種々な人物を配し醜面の令嬢、貞淑なる銀行家、朴訥なる工學士、當世向きの女優等各様々に篇中に活躍して讀者をして應接に遑あらざらしむ（二冊揃）東京日本橋區本石町三［illegible］

▲婦人之友（予備教育號）若き母親の參考となるべき家庭教育及び衛生に關する種々の意見と經驗談を滿載せる外手藝料理栽縫家計等に關する實際的記事多く又徳田秋聲の長篇小説あり（廿五錢）

▲婦女界（婦人發生號）五婦人の［illegible］中のさまざまへの經驗はお產に就ての周到適切なる注意を與へ佐野博士の頭痛と腕疲の話法野村醫師の子宮内膜炎の妙藥高野太吉氏の子供の丈夫に育つ抵抗養生法尼崎夫人の神經衰弱の簡易療法など婦人の發生に關する各種の重要記事を網羅せり（定價廿錢）東京牛込加賀町一ノ一四婦女界社

▲鮮滿運動界（號外）運動論研究（カリンピヤの傳説）論壇、各地運動會、雜報其の運動家と食物（某醫學士）撞球雜話等（五錢京城本町二ノ四其社）

▲黒白（六月號）十錢東京築地三ノ一五其社發行所

▲極東時報（六一）十八錢東京築地明石町三三其社

▲輪業世界（三）二十五錢東京京橋區松屋町三ノ一五其社

讀者の領分

▲一昨年十月出生の娘が今年春頃から百日咳で苦しんで居ります近頃は母乳も牛乳も飲んだものは皆な吐いて仕舞ひますものですから身體が非常に弱りました咳する時など側で見て居られません何うか咳だけでも直したいと思ひますが療法を御存じの方は何卒御教ひ下さいませ（母）

▲京日子が中傷的投書を嚴格に取締らるゝと云ふことは公徳上頗る喜ばしい譯であるのみならず一面新聞社の方より云へば然かせざるべからざる義務ありと思ふ單に投書位では［illegible］

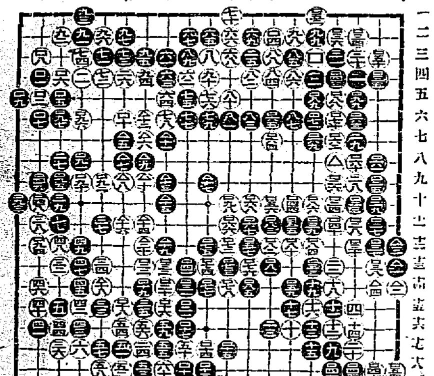
▲小生は中學卒業程度の者なるが晝は市内の某會社へ勤務し居れるも夜は何處か適當の夜學校は五時頃より十二時頃迄［illegible］

碁戰（十一）

大正七年五月二十日（於京城倶樂部）京城日報主催圍碁會

先　五段　同亭 關源吉氏
　　三段　山平壽氏

●二〇一	イの十三
○二〇二	イの十四
●二〇三	イの十二
○二〇四	ロの十四
●二〇五	カの七
○二〇六	ワの七
●二〇七	カの八
○二〇八	カの九
●二〇九	ワの八
○二一〇	ワの九
●二一一	チの七
○二一二	レの六
●二一三	チの九
○二一四	ワの十一
●二一五	チの十
○二一六	カの十一
●二一七	ヌの九
○二一八	ヨの十四
●二一九	チの十三
○二二〇	ワの十一



交戰國と講和問題（下）

在東京　一記者

［illegible］利道するに於ては講和問題の實現に屈服したるに異ならず、聯合軍［illegible］アミアンは其の東北方東方及び東の有効射程下に制壓せられつゝあ［illegible］到達せざるに先ち早く既に其の運［illegible］合國の屈服を意味するものたらざ［illegible］援し守勢より攻勢に轉じ獨軍に對［illegible］○今や獨軍は第三次攻勢を開始す［illegible］援助を與ふるを躊せざるあり、此［illegible］

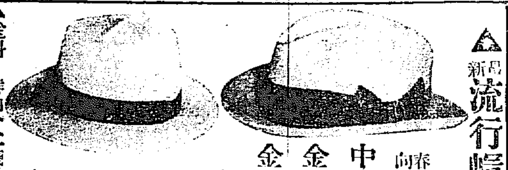
●どんな重症のわきがでも
■決して悲觀するに及ばず
藥化學應用の新療法發見!!

前横濱衛生試驗所長島田藥學博士研究の藥化學應用療法は驚くべき偉力を有し在來行はるゝ自宅療法とは其趣きを異にし藥化學の局部作用に依りてどんなひどいわきがの惡臭でも根本より絶滅せしむ、今日迄あらゆる治療に失敗せし不幸の患者はスグハガキで東京青山南町六ノ一三九日本病理研究所へ照會あれ、詳細なる説明書を進呈し無料相談に應ず

サック
舶來ゴム最良品を原價にて販賣す
男女防毒　他品と比較乞ふ●男用並製壹打五拾錢四打壹圓●上製壹打七拾錢四打貳圓●特製壹打八拾錢●女用壹個五拾錢●珍型貳種四個貳拾錢●送料廿錢●引替郵券五分増
東京市芝區愛宕町貳　丁子堂　振替東京一八一五八

總督部御認可、衛生無害
はい取散
室内の空氣中に撒布せば蠅は十分間にして死す
引請捌元　京城南米倉町　島田藥房
▲各地藥店雜貨店及行商希望の方照會乞ふ

質　大塚質店
京城明治町二丁目元昭明　電話一八四九
◎戰慄すべき火災の防備に完全倉庫あり
◎多額の融通なり御便宜に應ず

▲新型流行帽子▼

春向　ソフト　中折帽子　金二圓より金六圓迄
パナマ帽子　一圓廿錢より五圓八十五錢迄
▲送料　鮮内十二錢外三十錢
▲鳥打帽其他最新形　澤山取揃へ居り候
◉御注文の際は柄向（縞とか無地など）色合御嗜好及價格頭廻り寸法御申越被下候はゞ必ず適當の品見計ひ御送付可申上候
京城太平通　京城日報代理部　電話構内十八番　振替京城三〇〇番

毛髪の營養に富み日本に冠たる世界的パール煉香油……として内外の需要頗る旺盛なり
パール煉香油
パールポマード
パール椿香油
化粧化學を應用し絶對的黑色養毛に適し實に遺感なき……現代理想の椿香油なり

關西代理店　大阪　平尾レート
本舗　東京　平尾パール

診察時間
初診の御方は可成午前中　自午前九時至午後六時
京城長谷川町二丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院　電話八一二番

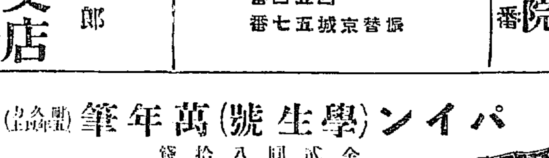
比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗　サクラ正宗　サクラ正宗

京城明治町二丁目　山邑京城支店
電話（局）四八一番　四五四番　九四九番　振替京城五七番

資本金壹千萬圓
頭取　安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目　電話（局）五八一番　一九四番　振替貯金京城一一三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

淫羊藿エキス　通稱三枝九葉草エキス
人參に優る滋養強壯劑

定價　廿瓦入金壹圓　卅瓦入金壹圓五十錢　四十瓦入金壹圓九十錢　五十瓦入金貳圓三十錢
送料　鮮内二錢　外三十錢
淫羊藿は古來有名なる藥草にして之を服用する時は靈妙なる効驗ありと支那、朝鮮兩國人に愛用せられしが産出一地方に限られ高麗人參の如く普く知られざれども其の効驗は遙に人參を凌駕すとて醫家の重用する所なり然るに如何なる成分が人體に有効なるかは人參と同じく明白ならざるも本劑が彼の神秘的なる效能の顯著なる事は東醫寶鑑その他の醫書により明白なりとす而して斯かる有効なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失と思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師がエキスとなしたるものなり
主効　神經衰弱症、貧血症、胃腸病、肺病、脚氣、ヒステリー、ヒポコンデリー、老衰、精力減退、リウマチス
以上に依り適應症左の如し
(1)精力を盛んにし精神を爽かにし體力を増し元氣を良くす
(2)思考判斷及記憶力の減耗を癒す
(3)讀書計算の疲勞を癒す
(4)安眠し赤眼の疲れを癒す
(5)筋骨の疼痛を除し又疲勞を恢復す
(6)消化及便通を良くす
(7)産前産後及病後の衰弱に良し
(8)血の道氣鬱症に良し
(9)子なき人に良し
(10)貧血虚弱を癒し發育を良くす
(11)手足腰膝の冷ゆるに良し
(12)陰萎遺精及子宮病に良し
(13)瘰癧に良し
(14)長壽なるべし
全國一手販賣　朝鮮京城府太平通一丁目　合資會社京城日報社代理部　電話長六〇九番ノ二構内一八番　振替貯金口座京城三〇〇番

パイソン學生號萬年筆（耐久五年）
金貳圓八拾錢　送料鮮内外十三錢

五年以上の生命を前提とするパイソン學生號萬年筆は如何なる試驗を以てするも眞の萬年筆たる事を立證する事が出來る
發賣元　京城日報代理部　京城太平通電話構内十八番　振替京城三〇〇番

金泉乃城間自動車著發時刻
［illegible］
織居自動車部金泉支部　金泉電話四八番

汽船　釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行　和歌浦丸　月　日後五時
○立神丸　月　日後五時
○元山、清津、浦鹽行　立神丸　月　日後四時
○和歌浦丸　月　日後十時
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天草丸　毎月二日九日十六日廿三日午後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三幸平丸　日後六時
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三幸平丸　四月　日後六時
大池回漕部

大阪商船出帆
仁川出帆
◉神戸、大阪行　△日清丸　六月八日　後五時出　△日清丸　六月十八日　後五時出
元山出帆
◉清津行　安平丸　六月五日　後十二時
◉釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　安平丸　六月十一日　後九時出
大連出帆
◉上海、基隆、打狗行　湖北丸　六月九日　前六時出　基隆丸　六月廿一日　後四時出
内地各港出帆主要航路
歐洲行　一年四回　南米洲行　一年四回　濠洲行　毎月一回　北米行　毎月二回　爪哇行　毎月一回　南洋行・孟買行　毎月一回
御注意　◉外國航路（南洋航路ヲ除ク）［illegible］
大阪商船株式會社仁川支店　電話二〇番・五五〇番
京城　切符發賣所　仁川　［illegible］

朝鮮郵船出帆
○敦賀行（浦鹽發清津元山經由）平壤丸　六月八日　清津　六月十一日　元山
○浦汐行（大阪發門司、釜山、元山、城津、清津經由）平安丸　六月四日　釜山　六月六日　元山
○雄基行（關門發釜山、元山經由）×摩耶山丸　六月四日　釜山　六月七日　元山　成鏡丸　六月九日　釜山　六月十三日　元山
○元山雄基線　鏡城丸　六月一日　元山發
○大阪行（門司神戸經由）平安丸　六月十四日　元山　六月十六日　釜山
○關門行　×京畿山丸　六月五日　釜山　六月八日　元山　六月十六日　釜山
○金剛山遊覽便　鏡城丸　月　日　元山發
○鬱陵島行　盈德丸　六月五日　釜山發
○釜山浦項線　江陵丸、金海丸　毎日　釜山、浦項發
○濟州島行　昌平丸　六月四日　釜山發
○濟州島行　木浦發　東廻慶興丸　六月六日　西廻公州丸　六月三日　木浦發
○釜山麗水線　海州丸、巨濟丸、統營丸　毎日
○木浦麗水線　金海丸　六月一日　木浦發
○多島海行　慶興丸　六月二日　木浦發
○木浦行　廢發丸　六月三日　仁川發
○海州行　錦江丸成歡丸　毎日一回仁川海州發
○鎭南浦行　全州丸　六月一日　仁川發
○青島行　江原丸　六月十一日　仁川發
○鎭南浦大連直行線　宗信丸　月　日　鎭南浦發
◎朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便アリ
本社　京城南大門通（電話一九五二、二三）　釜山支店　元山出張所
釜山港佐藤町　元山港海岸通　仁川港代理店　木浦港代理店　京城荷客取扱店　京城南大門驛前　松原運送店
（其他各停車地ニ荷客取扱店アリ）

尼崎汽船出帆
仁川、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
第一太湖丸　六月一日　後四時
秀吉丸　月　日　後四時
君代丸　月　日　後四時
大有丸　六月三日　後四時
仁川海岸通二丁目　取扱店　高田回漕店

共同汽船
向大連直行　共同丸　六月二日後入港　三日後出帆
仁川代理店　堀口商會　本町四丁目　電話一七三番
元山代理店　田口回漕店
京城取扱店　河村運送店

日本郵船仁川出帆
大連行　天津行　相模丸　月　日
三河丸　六月九日
高砂丸　月　日　正午出帆
仁川海岸町十一丁目　電話十番　堀回漕部